

V 業績目録

1 著書・論文・投稿

著者	タイトル	出版社・書名・誌名ほか	発行年
関根 由貴 菊池 眸 佐々木 健太 小嶋 修平 御手洗 聡 西尾 和三	川崎市立井田病院における非結核性抗 酸菌の分離頻度と時系列変化	日本臨床微生物学会誌 第33巻 第3号	2023年
Kazunori Shoji, Toshikazu Takeda, Hirotaka Akita, Tatsuya Suzuki, Shuji Mikami, Keisuke Shigeta, Yota Yasumizu, Nobuyuki Tanaka, Kazuhiro Matsumoto, Shinya Morita, Takeo Kosaka, Ryuichi Mizuno, Hiroshi Asanuma, Masahiro Iinzaki.	Prediction of pathological up- staging after radical nephroureterectomy in patients with upper tract urothelial carcinoma.	World J Urol. 2024 Mar 26;42(1):192. doi: 10.1007/s00345-024-04808-6.	2023年
Takazumi Yasui, Hiroki Nagamine, Kenta Tanaka, Moemi Kimura, Takeshi Karube, Hiromasa Kawana and Katsuhiko Onizawa	Treatment outcomes and time to healing of medication- related osteonecrosis of the jaw based on image fin	Dentomaxillofacial Radiology, Volume 52, Issue 5, 1 July 2023	Published: 16 May 2023
朱 瀛瑤 鈴木 千尋 早川 道太郎 安西 秀美	若年女性の外陰部に生じた硬化性萎縮 性苔癬の1例	皮膚科の臨床65(5):659-662	2023年5月
土屋 茉甲絵 安西 秀美	国内感染したサル痘の1例	口皮会誌133(6):1505-1509	2023年6月
村岡 渡	症例に学ぶ診断マスターへの道： 歯肉痛で抜髄、拔牙などのディ量後、 神経障害性筋・筋膜痛と診断された症 例	デンタルダイヤモンド社デンタルダイアモ ンド No. 718、Vo148 (12)	2023年9月
中島 由紀子	はじめて物語 ウエストナイル熱	「J-IDE0」Vo. 7 No. 6	2023年11月

著者	タイトル	出版社・書名・誌名ほか	発行年
村岡 渡	特別シリーズ：それ、本当に顎関節症ですか？—顎関節症の鑑別診断 ④顎関節症と鑑別が必要な疾患 2. 有痛性疾患：神経障害性疼痛と頭痛を中心に	ヒョーロンパブリッシャーズ 日本歯科評論 No973, Vol83 (11)	2023年11月
西 智弘編著	みんなの社会的処方	学芸出版社	2024年2月
鈴木 貴博	医局関連病院 川崎市立井田病院—教室との深いつながり	北里大学医学部膠原病・感染内科学同門会 会誌創刊号20-22, 2024	2024年3月

2 学会発表

演者	演題名	学会名	場所	発表日
嶋田 恭輔	『当院におけるエリブリンの使用経験』 『ハラヴェンを1st.ラインの化学療法として使用した de novo stageIV乳癌』	Eribulin Premium Digital Seminar	オンライン	2023年4月12日
川井 雅敏 米澤 江里奈 阿南 隆介 奥 佳代 栗原 夕子 鈴木 貴博	腫瘍型筋サルコイドーシスのフォロー中にLoefgren症候群を合併した1例	第67回日本リウマチ学会学術集会・総会	福岡	2023年4月25日
米澤 江里奈 川井 雅敏 阿南 隆介 奥 佳代 栗原 夕子 鈴木 貴博	ステロイドパルス療法による寛解導入療法後に小腸穿孔を発症した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の1例	第67回日本リウマチ学会学術集会・総会	福岡	2023年4月25日
谷岡 友則 中島 由紀子 西尾 和三	リポゾームマルドキソルピシンとリツキシマブ併用療法が有効だったHIV関連多中心性キャッスルマン病(MCD)の2例	第97回日本感染症学会学術講演会・第71回日本化学療法学会総会 合同学会	パシフィコ横浜ノース	2023年4月29日
土屋 菜里絵 鈴木 千尋 安西 秀美	SLE患者の左下腿に生じたMycobacterium chelonaeによる非結核性抗酸菌症の1例	日本皮膚科学会第906回東京地方会	東京Web 神奈川地区	2023年5月20日
嶋田 恭輔	『BRCA1/2変異陽性非浸潤性乳管癌の特徴』	乳がん治療 Up to Date in 神奈川東部	オンライン	2023年5月30日
土屋 菜里絵 安西 秀美	国内感染したサル痘の1例	第122回日本皮膚科学会総会	神奈川	2023年6月1日
村岡 渡	シンポジウム45 口腔領域の難治性疼痛に対し精神科医は何をすべきか？—歯科医と精神科医との対話から—口腔領域の難治性疼痛治療の現状と精神科との連携を考える ～歯科医師の立場から～	第119回日本精神神経学会総会	パシフィコ横浜ノース	2023年6月23日
古市 祐樹 早川 道太郎 鈴木 千尋 椎山 理恵 安西 秀美	ステロイド長期外用患者の手背に生じた皮膚Mycobacterium abscessus subspecies abscessus 感染症の1例	第71回神奈川医真菌研究会	横浜	2023年6月24日

演者	演題名	学会名	場所	発表日
嶋田 恭輔1 佐藤 知美1 亀山 友恵1 杜 斐林2 品川 俊人2 川崎市立井田病院 乳腺外科1 川崎市立井田病院 病理診断科2	『アテゾリズマブが奏効した転 移性乳癌の二例』	第31回日本乳癌学会学術総 会	パシフィ コ横浜	2023年6月30日
西 智弘	緩和ケアの発展と暮らしの保健 室	第28回日本緩和医療学会学 術集会	神戸国際 展示場	2023年6月30日
津留 世里 秋本 香南 増田 香織 栗田 華代 西 智弘 久保田 敬乃 佐藤 恭子 宮森 正	中学校教師である患者と市立中 学校をつないだオンラインでの 命の授業	第28回日本緩和医療学会学 術大会	神戸	2023年6月30日～ 2023年7月1日
横塚 清美	せん妄症状や医療処置により家 族に自宅介護を拒否されたが、 症状をコントロールすることで 自宅退院が可能になった事例発 表	全国自治体病院学会in北海 道	札幌コン ベンショ ンセン ター	2023年8月31日～ 2023年9月1日
横倉 悦美	医業利益の改善に向けた入院期 間の検討	全国自治体病院学会in北海 道	札幌コン ベンショ ンセン ター	2023年8月31日～ 2023年9月1日
荒木 亜紀子	病院図書室における文献取り寄 せサービスの見直し	全国自治体病院学会in北海 道	札幌コン ベンショ ンセン ター	2023年8月31日～ 2023年9月1日
前田 麻実 殿村 駿 桑野 柚太郎 一條 真梨子 緒方 謙太郎 滝本 千恵	海洋生物刺傷後の急性腎障害の 一例	第53回腎臓学会東部学術大 会	仙台国際 センター	2023年9月1日
小野 美歩	術後耳介ケロイドの放射線治療 における線質の相違による線量 分布の比較検討	第61回全国自治体病院学会	札幌	2023年9月1日

演者	演題名	学会名	場所	発表日
嶋田 恭輔	ディスカッサント	Breast Cancer Seminar - HB0C診療最前線	オンライン	2023年9月19日
布間 寛章 久保田 敬乃 増田 香織	非がんCovid-19肺炎患者の呼吸 困難に対し高用量オピオイドと 鎮静薬で適切に症状緩和しえた1 例	第5回日本緩和医療学会関 東・甲信越支部学術大会	足利	2023年10月9日
力武 七瀬 木村 萌美 村岡 渡	口腔外科を紹介受診した顔面丹 毒の3例	4学会合同学術大会（第43回 日本歯科薬物療法学会・第 36回日本口腔診断学会・第 33回日本口腔内科学会・第 32回日本口腔感染症学会）	栃木県宇 都宮市	2023年9月22日～ 2023年9月24日
中村 明穂 久保田 敬乃 杉 真恵 布間 寛章 下澤 信彦 増田 香織 西 智弘 佐藤 恭子	メサドンへのオピオイドスイッ チングを入院から在宅で継続し 早期退院が可能となった一例	第5回日本緩和医療学会関 東・甲信越支部学術大会	足利	2023年10月9日
莊所 一典 武田 利和 秋田 大宇 鈴木 達也 三上 修治 茂田 啓介 安水 洋太 田中 伸之 松本 一宏 森田 伸也 小坂 威雄 水野 隆一 浅沼 宏 陣崎 雅弘 大家 基嗣	上部尿路上皮癌の術前ステー ジにおけるCTの精度評価と upstageに関わる因子の検討	第61回日本癌治療学会学術 集会	パシフィ コ横浜	2023年10月19日
奥 佳代	若年抗ARS抗体症候群に合併した NSIP症例にタクロリムス併用に て寛解維持した症例	第72回日本アレルギー学会 学術大会	東京国際 フォーラ ム	2023年10月21日
中島 由紀子	HIV関連多中心性キャッスルマン 病（MCD）の再燃を疑われたエム ボックス（mpox）の一例	第72回日本感染症学会 東 日本地方会学術集会・第70 回日本化学療法学会 東日 本支部総会合同学会	東京ドー ムホテル	2023年10月26日

演者	演題名	学会名	場所	発表日
山田 園子 西尾 和三 小野里 隆太 河瀬 穂乃美 中垣 達 西野 誠 亀山 直史 中野 泰 杜 雯林 伊藤 大輔	膀胱癌に対するBCG膀胱内注入療法後に粟粒結核を来した1例	第691回日本内科学会関東地方会	東京	2023年11月1日
村岡 渡	LS3 国際口腔顔面痛分類 (ICOP-1) における神経障害性疼痛の診断とその治療	第68回日本口腔外科学会総会・学術大会	大阪府立国際会議場	2023年11月10日
古市 祐樹 土屋 茉里絵 安西 秀美	ペメトレキセド投与により脂漏性角化症様皮疹周囲に紅斑を生じた1例	第87回日本皮膚科学会東京支部学術大会	東京	2023年11月18日～ 2023年11月19日
木村 萌美	教育セミナー2 Red Flag を探せ 症例⑤口が開かない	第28回日本口腔顔面痛学会学術大会	福岡県筑紫野市	2023年11月19日
木村 萌美	教育セミナー2 Red Flag を探せ 症例⑥歯肉がしびれている	第28回日本口腔顔面痛学会学術大会	福岡県筑紫野市	2023年11月19日
村岡 渡	教育セミナー2 Red Flag を探せ 症例⑦ 痛くて、噛み合わせられず、物が咬めない	第28回日本口腔顔面痛学会学術大会	福岡県筑紫野市	2023年11月19日
白田 聡 力武 七瀬 金生 茉莉 中川 種昭 筋生田 整治	Menke-Hennekam症候群の幼児に認められた筋突起過形成症の1例	第68回日本口腔外科学会総会・学術大会	大阪府大阪市	2023年11月10日～ 2023年11月12日
村岡 渡 力武 七瀬 木村 萌美	インプラント関連手術後における三叉神経ニューロパチーの検討	第27回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会	国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス	2023年12月2日
嶋貫 佳奈子 阿南 隆介 奥 佳代 栗原 夕子 鈴木 貴博	細気管支炎を呈したirAEシェーグレン症候群の1例	第33回日本リウマチ学会関東支部学術集会	横浜	2023年12月16日

演者	演題名	学会名	場所	発表日
小宮山 紘史 雑賀 優鳥 高窪 毅 月保 公成 金澤 寧彦 高松 正祝 井上 健太郎	内因性インスリン分泌を保持する自己免疫性膵炎合併の2型糖尿病の一例	第61回日本糖尿病学会 関東甲信越地方会	パシフィ コ横浜	2024年1月20日
嶋田 恭輔	『HR+ HER2- 転移・再発乳癌治療 ~最新エビデンスから治療シーク エンスを整理する~』	Pfizer ABC Webシンポジウ ム in 神奈川	オンライ ン	2024年1月26日
河瀬 穂乃美 亀山 直史 由井 照絵 中垣 達 西野 誠 中野 泰 山崎 理絵 定平 健 西尾 和三	難治性溶血性貧血を併発した粟 粒結核の一例	第185回日本結核・非結核性 抗酸菌症学会関東支部学 会・第258回日本呼吸器学会 関東地方会合同学会プログ ラム	東京	2024年2月1日
小嶋 修平	皮膚・膿瘍検体から検出された 迅速発育性抗酸菌群5例の検討	第35回日本臨床微生物学会 総会・学術集会	パシフィ コ横浜	2024年2月9日
西 智弘	その治療、やり過ぎじゃないで すか？	第21回日本臨床腫瘍学会学 術集会	名古屋国 際会議場	2024年2月22日
津端 里胡	精神疾患をもった独居の患者に 対する尿路変更術後の看護につ いて ~膀胱洗浄の指導から患者に気 づかされたこと~	川崎市看護協会 看護研 究・活動報告会	川崎市看 護協会	2024年2月22日
岡野 日菜子	加齢による認知症低下がある糖 尿病患者への退院支援 ~ インスリン自己注射の指導を通 して~	川崎市看護協会 看護研 究・活動報告会	川崎市看 護協会	2024年2月22日
佐野 剛史	第23回サンプルサーベイ 結果解 析報告	第24回KEMS研究会 学術 集会	慶應大学	2024年2月24日
小島 知彩 竹内 あかり 吉田 和起 丸山 礼佳 田中 秀夫 三宅 博之 附田 博人 山本 桂一	当院における上肢X線単純撮影法 の再検討	第20回神奈川放射線技師学 術大会	横浜	2024年2月25日

3 講演・講師派遣

演者	演題名	会合名	場所	年月日
三宅 博之 (司会)	「救急医療 各領域で用いられているガイドライン：プレホスピタルを中心に」 済生会横浜市東部病院 稲垣直之 先生	第79回日本放射線技術学会総会 学術大会 専門部会講座（撮影部会A：一般）入門編	横浜	2023年4月14日
三宅 博之 (座長)	一般口述発表「撮影（単純X線）臨床技術システム開発」	第79回日本放射線技術学会総会 学術大会 一般口述発表	横浜	2023年4月16日
仁藤 紀子	看護学概論 「保健医療福祉システムにおける訪問看護師の役割と機能」	順天堂大学医療看護学部	順天堂大学浦安キャンパス	2023年5月25日
丸山 礼佳 (講師)	デジタルマンモグラフィの画像評価	関東DR研究会 第16回 実践セミナーin蓼科	名古屋	2023年5月27日 2023年5月28日
吉田 龍也	令和5年度川崎市病院局新規採用者研修 「夜勤に向けたフィジカルアセスメント研修」	川崎市病院局	カルッツかわさき 大会議室	2023年6月2日
渡邊 嘉如	食物アレルギー・熱中症・心肺蘇生法について	川崎市立宮内中学校	川崎市立宮内中学校 学校体育館	2023年6月8日
宮崎 奈々	食物アレルギー・熱中症・心肺蘇生法について	川崎市立宮内中学校	川崎市立宮内中学校 学校体育館	2023年6月8日
武見 綾子	看護単位リーダー研修②	川崎市病院局	フロラシオン新川崎	2023年6月16日
三好しのぶ	看護単位リーダー研修②	川崎市病院局	フロラシオン新川崎	2023年6月16日
小林 岳 (座長)	「新ガイドラインに基づく過活動膀胱の診断と治療」川崎市立多摩病院 泌尿器科部長 吉岡まき先生	第118回かわやくセミナー	川崎市	2023年6月27日
小林 岳 (座長)	「患者さんの視点から考えるぜんそく診療のキホン」日本鋼管病院 呼吸器内科診療部長 田中希宇人先生	第118回かわやくセミナー	川崎市	2023年6月27日
荘所 一典	TKI治療後のカボザンチニブの使用経験	川崎東部 RCC Seminar	川崎市コンベンションホール	2023年6月29日
鈴木 貴博	首都直下地震に対する各対応-災害拠点病院の対応	第3回かわさき災害医療ネットワーク 首都直下地震に備える-川崎の戦略と戦術-	川崎市医師会館	2023年6月30日
丸山 礼佳 (講師)	入出力特性のためのデータ取得の実際	2023年度 第1回 関東DR研究会	埼玉	2023年7月8日
亀山 亜希夫	管理栄養士における症例検討セミナーを通	第10回日本糖尿病協会年次学術集会	京都国際会館	2023年7月22日
滝本 千恵	CKD病診連携について	知っておきたい腎臓のすゝめ	川崎・Web	2023年7月24日
吉田 龍也	熱中症予防と夏の栄養摂取について	川崎市社会福祉協議会	川崎市高津老人福祉・地域交流センター	2023年7月27日

演者	演題名	会合名	場所	年月日
古田 龍也	救急対応	川崎市社会福祉協議会	地域活動支援センター 工房和	2023年8月2日
谷内田 綾	摂食嚥下のリハビリテーション ベッドサイドの嚥下評価	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会令和5年度 介護多職種セミナー	川崎市	2023年8月4日
村岡 渡	臨床診断推論のための症例①	口腔顔面痛診断実習セミナー	東京都新宿区	2023年9月3日
小林 岳 (座長)	「やってみようと思えるスキンケア指導」 えがおの森こどもアレルギークリニック 看護師 小児アレルギーエデュケーター 原口純先生	第119回かわやくセミナー	川崎市	2023年9月4日
小林 岳 (座長)	「外用指導の実際 アドヒアランス向上のための基材の使い分け」川崎ミューザこどもクリニック 院長 三井理恵先生	第119回かわやくセミナー	川崎市	2023年9月4日
小林 岳 (座長)	「アトピー性皮膚炎治療と新規外用薬ジファミラスト軟膏」聖マリアンナ医科大学皮膚科学准教授 宮垣朝光先生	第119回かわやくセミナー	川崎市	2023年9月4日
仁藤 紀子	認定介護管理者教育課程セカンドレベル フォローアップ研修	神奈川県看護協会	神奈川県看護協会	2023年9月15日
西 智弘	それぞれの立場から看取りまでのプロセスを考える	川崎市看護協会	川崎市	2023年9月16日
金澤 寧彦	血糖コントロールに係る薬剤投与関連 「インスリン投与量の調整の実際」	日本看護協会 看護研修学校 糖尿病看護学科 認定看護師講義	日本看護協会 看護研修学校 石護研修学校	2023年9月21日
篠原 悦子	認知症ケア研修 認知症の方への接し方	川崎市社会福祉協議会	福祉バルなかほら	2023年9月26日
宮崎 奈々	演習支援 フィジカルアセスメント：基礎	日本看護協会	日本看護協会看護研修学校	2023年10月6日
三宅 博之 (司会)	2023年度 市民公開シンポジウム 「医療画像の向こう側 ～ドラマのようになぜ病気がわかるのか?～」	日本放射線技術学会 2023年度 市民公開シンポジウム 「医療画像の向こう側 ～ドラマのようになぜ病気がわかるのか?～」	京都	2023年10月8日
進藤 広太郎	救急カートの薬について	井田病院看護部	井田病院 7西病棟	2023年10月10日
進藤 広太郎	糖尿病治療薬～内服薬について～	井田病院看護部	井田病院 7西病棟	2023年10月10日
中島 由紀子	最近の感染症情報と感染管理について	川崎市看護協会技術研修	川崎市看護協会	2023年10月11日
鈴木 貴博	訓練コントローラー	ビックレスキュー神奈川	未病パレービオトピア	2023年10月15日
小倉 久美子	患者支援の役割と連携の実際（医療機関）	結核予防会結核研究所	結核予防会結核研究所	2023年10月19日
村岡 渡	口腔顔面痛臨床の実際Ⅱ～痛みメカニズムに基づいた薬の使い方～	厚生労働省令和5年度慢性疼痛診療システム普及・人材育成モデル事業（東北地区）	宮城県仙台市	2023年10月22日

演者	演題名	会合名	場所	年月日
進藤 広太郎	オゼンピックの適正使用について	井田病院看護部	井田病院 7 西病棟	2023年10月26日
小林 岳	病院と地域を繋ぐ薬剤師の役割と多職種協働	川崎市立看護大学講義～高齢者の地域包括ケアシステム（4）～	川崎市	2023年10月26日
三宅 博之 （座長）	口述発表 X線撮影（基礎技術・臨床評価）	第51回日本放射線技術学会秋季学術大会	名古屋	2023年10月27日
三宅 博之 （座長）	「モダリティで埋める整形外科領域の溝！下肢編（骨盤～膝関節を中心に）」	第51回日本放射線技術学会秋季学術大会 専門部会プログラム：第81回撮影部会 ワークショップ「テーマA 一般分科会」	名古屋	2023年10月28日
篠山 薫	認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	神奈川県立保健福祉大学	神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター	2023年10月28日 2023年11月9日 2023年12月2日 2023年12月15日 2024年1月9日
曾我部 雅代	認知症看護に必要な専門的知識技術を有する看護師を養成する研修会	川崎市看護協会	川崎市 ナーシングセンター	2023年11月1日
篠原 悦子	地域包括ケア実践	川崎市立看護大学	川崎市立看護大学	2023年11月2日
牛込 志乃	褥瘡 スキンケアに関する基礎知識	特別養護老人ホーム 生田まほろば	特別老人ホーム生田まほろば 研修室	2023年11月8日
村岡 渡	教育セミナー② Red Flag を探せ 症例⑦ 痛くて、噛み合わせられず、物が咬めない	第28回日本口腔顔面痛学会学術大会	福岡県筑紫野市	2023年11月9日
鈴木 果里奈	ELNEC-Jコアカリキュラム 看護師教育プログラム研修	川崎市看護協会	川崎市 ナーシングセンター 研修室	2023年11月10日
亀山 亜希夫	病院栄養士のお仕事について	中高生インタビュープログラム ジョブtavi	川崎市南部学校給食センター	2023年11月15日
滝本 千恵 （座長）	透析患者へのTAVI ～人工拡張型人工弁の新たな選択肢～	EvolutFX透析患者への適応拡大	川崎・Web	2023年11月16日
三嶽 秀介 （座長）	一般演題05「心SPECT、収集・画像再構成」	第43回日本核医学技術学会総会学術大会	大阪	2023年11月16日
柳井山 恭子	認定看護管理者教育課程セカンドレベルの演習指導	神奈川県看護協会	神奈川県看護協会	2023年11月16日 2023年11月22日 2023年12月14日 2023年12月27日 2024年1月18日

演者	演題名	会合名	場所	年月日
鈴木 果里奈	2023年度川崎市立川崎病院 緩和ケア研修会	川崎市立川崎病院	川崎市立川崎市 7階講堂	2023年11月19日
小林 岳 (座長)	「薬剤師が考える便秘薬の使い分け、こんな人にはこの薬」バルコポーレーション在宅部長 丸薬局菅生店 三谷徳安昭先生	第120回かわやくセミナー	川崎市	2023年11月21日
小林 岳 (座長)	「たかが便秘、されど便秘 ～便通異常症診療ガイドライン2023を踏まえて～」聖マリアンナ医科大学 消化器内科教授 前畑忠輝先生	第120回かわやくセミナー	川崎市	2023年11月21日
鈴木 貴博	訓練コントローラー	令和5年度関東ブロックDMAT訓練	川崎市役所新庁舎 6階災害対策本部 事務局室	2023年11月25日 2023年11月26日
丸山 礼佳 (座長)	一般演題 XP1 マンモグラフィ	東京・関東合同研究発表会2023	東京	2023年12月2日 2023年12月3日
宮崎 奈々	検査時及び採決時における患者急変時対応について 患者の移乗について	井田病院検査科	井田病院 1階採血室	2023年12月4日 2023年12月12日
五ノ井 智恵	検査時及び採決時における患者急変時対応について 患者の移乗について	井田病院検査科	井田病院 1階採血室	2023年12月4日
鈴木 貴博 田熊 清継	シンポジウム:地域連携で考える救急医療-救急外来は社会の縮図 市立井田病院と市立川崎病院における救急診療連携:電子カルテの共有化、救急ホットライン、研修医教育、輸液指導について	第11回かわさき救急フォーラム	ステーション コンファレンス川崎	2023年12月5日
吉田 龍也	令和5年度川崎市病院局新規採用者研修「新人のためのフィジカルアセスメント研修②」	川崎市病院局	カルッツかわさき 大会議室	2023年12月9日
田村 桂子	令和5年度川崎市病院局新規採用者研修「新人のためのフィジカルアセスメント研修②」	川崎市病院局	カルッツかわさき 大会議室	2023年12月9日
鈴木 貴博	訓練コントローラー	川崎市南部病院連携訓練・川崎市立3病院ヘリ搬送訓練	井田病院	2023年12月11日
内藤 祥子	福祉施設のための出張講座	川崎市社会福祉協議会	特別養護老人ホーム虹の甲	2023年12月12日
八木 佳祐	検査時及び採決時における患者急変時対応について 患者の移乗について	井田病院検査科	井田病院 1階採血室	2023年12月12日
柳井山 恭子	福祉施設のための出張講座	川崎市社会福祉協議会	特別養護老人ホーム虹の甲	2023年12月12日
亀山 亜希夫	介護多職種でもできる栄養評価(アセスメント)について	川崎市南部摂食嚥下・栄養研究会 介護多職種セミナー	WEB	2023年12月15日
武見 綾子	川崎市病院局看護職員研修「看護単位リーダー研修③」	川崎市病院局	フロラシオン新川崎集会室	2023年12月15日
三好しのぶ	川崎市病院局看護職員研修「看護単位リーダー研修③」	川崎市病院局	フロラシオン新川崎集会室	2023年12月15日

演者	演題名	会合名	場所	年月日
鈴木 貴博	災害医療の基本 災害医療の概論・災害医療の原則	令和5年度かながわDPAT研修	金沢産業振興センター大会議室	2023年12月16日
中島 出紀子	災害活動時の感染症対策	令和6年度かながわDPAT研修	令和6年度かながわDPAT研修	2023年12月16日
鈴木 貴博	救急医療の実際 DMAT（災害医療派遣チーム）の活動	川崎市立看護大学講義	川崎市立看護大学	2023年12月22日
深井 清乃	ELNEC-Jコアカリキュラム 看護師教育プログラム研修	川崎市立川崎病院	川崎市立川崎病院7階講堂	2023年12月23日 2023年12月24日
三宅 博之 (講師)	『装置の性能評価の概要』	日本放射線技術学会 関東支部DR研究会 2023年度 第31回関東DR研究会 テーマ「見えない世界の探究：装置の性能評価と撮影条件検討の鍵」	横浜	2024年1月6日
荒井 絵里	ナース専科就職ナビ合同就職説明会 派遣	川崎市病院局	タカシマヤローズホール	2024年1月20日
村岡 渡	歯科医師のための慢性疼痛診療研修会 咀嚼筋の筋筋膜性疼痛とその対応	厚生労働省令和5年度慢性疼痛診療システム均てん化事業（東北地区）	宮城県仙台市	2024年1月21日
篠山 薫	看護師等養成施設における就職説明会	川崎市病院局	川崎市立看護大学	2024年1月23日
奥寺 遥菜	看護師等養成施設における就職説明会卒業生・先輩看護師からのメッセージ	川崎市病院局	川崎市立看護大学	2024年1月23日
内藤 祥子	フットケアの効果的な方法	港北病院	港北病院	2024年1月26日
亀山 亜希夫	管理栄養士ブロック協議会「症例検討会開催報告会」	第27回日本病態栄養学会年次学術集会	京都国際会館	2024年1月27日
武見 綾子	ナース専科就職ナビ合同就職説明会 派遣	川崎市病院局	東京ビックサイト	2024年2月3日
春田 朋則	2年目に向けたステップアップ研修	川崎市病院局	カルッツかわさき大会議室	2024年2月8日
小林 岳 (座長)	「片頭痛に寄り添う看護」聖マリアンナ医科大学病院 外来看護師 長谷川友香先生	第121回かわやくセミナー	川崎市	2024年2月13日
小林 岳 (座長)	「片頭痛の予防療法で頭痛と上手につき合う」聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 平野愛耶美先生	第121回かわやくセミナー	川崎市	2024年2月13日
小林 岳 (座長)	「鎮痛薬だけで満足していませんか？～薬剤師業務に支障をきたす片頭痛を予防療法で斬る～」聖マリアンナ医科大学 脳神経内科学教授 秋山久尚先生	第121回かわやくセミナー	川崎市	2024年2月13日

演者	演題名	会名	場所	年月日
村岡 渡	口腔顔面痛の会 「口腔顔面痛の難治の指標と目指すアウトカム」 口腔顔面痛診療の現状とその問題点	第53回日本慢性疼痛学会	栃木県足利市	2024年2月23日 2024年2月24日
小林 岳 (座長)	「地域連携を基盤にした地域フォーミュラリ作りについて」 鶴見薬剤師会 会長 阿部正隆先生	川崎市地域医療連携研修会	川崎市	2024年2月27日
小林 岳 (座長)	「地域フォーミュラリの浸透がもたらす安心・安全な地域医療の未来」 済生会横浜市東部病院 薬剤部主任 大幸淳先生	川崎市地域医療連携研修会	川崎市	2024年2月27日
白井 直子	ナース専科就職ナビ合同就職説明会	川崎市病院局	横浜そごう9F・新都心ホール	2024年3月2日
滝本 千恵	地域連携の現状について	CKDsymposium in KAWAKAKI	川崎・Web	2024年3月11日
武見 綾子	令和5年度川崎市病院局看護職員研修「看護単位リーダー研修」	川崎市病院局	フロラシオン新川崎集会室	2024年3月11日
滝本 千恵 (座長)	透析患者の新たな心房細動治療 ～経皮的左心耳閉鎖術WATCHMAN FLX TM～	透析患者の心腎速関セミナー	川崎・Web	2024年3月19日

VI 研修・実習

1 研修会

(1) リハビリテーション科

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
4月20日	4月20日	第30回神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会	神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会
4月22日	4月23日	第35回日本ハンドセラピィ学会学術集会	日本ハンドセラピィ学会
6月23日	6月24日	第24回日本言語聴覚学会	日本言語聴覚士協会
9月2日	9月3日	第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	日本摂食嚥下リハビリテーション学会
10月15日	10月15日	第19回神奈川県作業療法学会	神奈川作業療法士会
11月4日	11月5日	第10回日本サルコペニア・フレイル学会大会	一般社団法人日本サルコペニア・フレイル学会
11月10日	11月12日	第35回日本作業療法学会	日本作業療法士協会

(2) 放射線診断科

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
4月13日	4月16日	第79回 日本放射線技術学会総会学術大会	公益社団法人 日本放射線技術学会
4月18日		第11回 C-MAC Youth 勉強会	C-MAC Youth
5月18日		キヤノン CT アカデミー	キヤノンメディカルシステムズ株式会社
5月20日	5月21日	神奈川県 DMAT-L 研修	神奈川県健康医療局
5月21日		第15回 千葉 IVR 技術セミナー	千葉アンギオ技術研究会
5月30日		バイエル画像診断 WEB カンファレンス	バイエル薬品株式会社
6月1日		心血管撮影技術基礎教育セミナー	循環器画像技術研究会
6月21日		SunCHECK ユーザーミーティング June2023	東洋メディック株式会社
6月21日		臨床ワンポイントセミナー 骨シンチ編	日本メジフィジックス株式会社
6月24日		第19回 Tokyo ER Meeting	Tokyo ER Meeting

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
6月29日	7月1日	第31回 乳癌学会学術総会	一般社団法人 日本乳癌学会
6月30日		かわさき災害医療ネットワーク	川崎市医師会
7月1日		2023年 第1回神奈川県放射線治療技術研究会	神奈川県放射線治療技術研究会
7月3日		第2回 日本心臓 CT 技術研究会	富士製薬工業株式会社
7月8日		2023年度 第1回 関東 DR 研究会	公益社団法人 日本放射線技術学会関東支部 関東 DR 研究会
7月8日		第41回 東京 MRI 研究会	東京 MRI 研究会
7月15日		第39回 日本核医学技術学会関東地方会総会	日本核医学技術学会関東地方会
7月19日		核医学の都市伝説 Vol.4	日本メジフィジックス株式会社
7月20日		キヤノン CT アカデミー	キヤノンメディカルシステムズ株式会社
7月22日		FUJIFILM MEDICAL SEMINAR 2023 in 横浜マンモグラフィの撮影技術向上を共に考える	富士フイルムメディカル株式会社
7月22日		第62回 心臓核医学談話会	心臓核医学談話会
8月7日		令和5年度 放射線治療専門放射線技師認定教育セミナー	日本放射線治療専門放射線技師認定機構
8月9日		臨床ワンポイントセミナー「心筋脂肪酸シンチ編」	日本メジフィジックス株式会社
8月15日		2023年度 放射線治療九州地区講習会	日本放射線治療専門放射線技師認定機構
8月30日		減弱補正の生死を決めるμマップ	日本メジフィジックス株式会社
9月3日		検診マンモグラフィ撮影技術認定	NPO法人 日本乳がん検診精度管理中央機構
9月5日		MRI 安全性講習 (検査管理認証用)	日本磁気共鳴医学会
9月11日		第12回 VMAT 治療計画実習講習会	日本医学物理士会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
9月14日		湘南心臓核医学講演会	日本メジフィジックス株式会社
9月20日		電子線のビームデータ計測・コミッショニング	日本医学物理士会
9月21日		キヤノン CT アカデミー	キヤノンメディカルシステムズ株式会社
9月22日		第30回 千葉乳房画像研究会	千葉乳房画像研究会
9月23日		第13回 デジタルマンモグラフィを基礎から学ぶセミナー	公益社団法人 日本放射線技術学会撮影部会
9月23日		FUJIFILM MEDICAL SEMINAR 2023 エクセレントカンファレンス	富士フイルムメディカル株式会社
10月1日		第4回 RTT 医療安全セミナー	日本放射線治療専門放射線技師認定機構
10月4日		骨シンチグラフィ技術セミナー	日本メジフィジックス株式会社
10月6日		第4回 Joying CT in Kanagawa meeting with 神奈川 CT 研究会	神奈川 CT 愉しむ会
10月7日		第39回 ブレイン・ファンクション・イメージング・カンファレンス	日本メジフィジックス株式会社
10月7日		2023年度 第2回 関東 DR 研究会	公益社団法人 日本放射線技術学会関東支部 関東 DR 研究会
10月8日		市民公開シンポジウム「医療画像の向こう側～ドラマのようになぜ病気がわかるのか？」	公益社団法人 日本放射線技術学会
10月15日		呼吸性移動対策の導入	日本医学物理士会
10月18日		Chang 法的前提条件 それほんと？	日本メジフィジックス株式会社
10月20日		令和5年度 神奈川県診療放射線技術講習会	公益社団法人 神奈川県放射線技師会
10月26日	10月29日	第51回 日本放射線技術学会秋季学術大会	公益社団法人 日本放射線技術学会
10月28日		第27回 Neurology SPECT 定量検討会	日本メジフィジックス株式会社
11月1日		告示研修（実技研修）	公益社団法人 日本診療放射線技師会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
11月8日		安定冠動脈疾患における検査モダリティ選択の基本的な考え方	PDR ファーマ株式会社
11月8日		横浜乳腺画像診断勉強会	横浜乳腺画像研究会
11月16日		キヤノン CT アカデミー	キヤノンメディカルシステムズ株式会社
11月16日		第43回 日本核医学技術学会総会学術大会	日本核医学技術学会
11月17日		令和5年度神奈川県診療放射線技術講習会	公益社団法人 神奈川県放射線技師会
11月22日		基礎から学ぶ（緩和、小児AYA世代、免疫）放射線治療の知見を知る	日本医学物理士会
11月19日		告示研修（実技研修）	公益社団法人 日本診療放射線技師会
11月29日		Sun CHECK Users Meeting	SUNLIGHT
12月2日	12月3日	東京・関東支部合同研究発表大会	公益社団法人 日本放射線技術学会
12月9日		2023年度 RTT 統一講習会コース1	日本放射線治療専門放射線技師認定機構
12月16日		2023年度 RTT 統一講習会コース2	日本放射線治療専門放射線技師認定機構
12月17日		令和5年度神奈川県診療放射線技術講習会	公益社団法人 神奈川県放射線技師会
12月23日		第156回 放射線治療かたろう会	放射線治療かたろう会
1月6日		2023年度 第3回 関東 DR 研究会	公益社団法人 日本放射線技術学会関東支部 関東 DR 研究会
1月13日		第20回 乳房 MRI 研究会	乳房 MRI 研究会・パリエル薬品・GEヘルスケアジャパン
1月17日		核医学の都市伝説 Vol.6	日本メジフィジックス株式会社
1月19日		計画者が知っておきたい臨床の知識	日本医学物理士会
1月20日		第63回 心臓核医学談話会	心臓核医学談話会
1月28日		令和5年度神奈川県診療放射線技術講習会	公益社団法人 神奈川県放射線技師会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
2月10日	2月11日	神奈川県マンモグラフィ技術講習会	神奈川県医師会
2月17日		第49回 ニュータウンカンファレンス	日本メジフィジックス株式会社
2月25日		第20回 神奈川放射線学術大会	公益社団法人 日本診療放射線技師会
3月9日		第5回 医療安全セミナー	日本放射線治療専門放射線技師認定機構
3月21日		第6回 放射線科のミライを創る医療政策スクール	GEヘルスケアジャパン

(3) 検査科

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
4月13日		第3回 道場山本のちょっと！これ教えて	株式会社 GramEye
4月28日	4月30日	第97回日本感染症学会総会・学術講演会	日本感染症学会
5月10日	5月13日	第70回日本輸血細胞治療学会	日本輸血細胞治療学会
5月14日		タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会	日本臨床検査技師会
5月23日		第2回微生物検査技術伝承セミナー	島津ダイアグノスティクス
5月28日		タスクシフト/シェアに関する規定講習会	日本臨床検査技師会
6月10日	6月11日	第98回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会	日本結核・非結核性抗酸菌症学会
6月17日	6月18日	タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会	日本臨床検査技士会
6月23日		第31回 関東感染症懇親会	関東化学株式会社
7月5日		神臨技 微生物研究会	神臨技 微生物研究班
7月15日		乳房超音波技術更新講習会	日本乳がん検診精度管理中央機構
8月5日		TDMQC 第8回研究会	一般社団法人 TDM 品質管理機構

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
8月25日		「新型コロナ・インフル同時流行への備え」	H. U. フロンティア株式会社
8月28日		第29回ルミパルス精度管理報告会	富士レビオ
8月30日		GeneXpert 勉強会	ベックマン・コールター
9月1日		ルミパルスフォーラム 2023	富士レビオ
9月2日		第21回首都圏ラボラトリーフォーラム 知っておきたい採血のポイント	BML
9月16日	9月19日	2023 関東エキスパートセミナー	日本 BD
10月2日	12月31日	生理検査部門システムフォーラム	日本光電
10月28日		信濃町心エコーカンファレンス	沢井製薬
11月28日		第8回微生物検査技術セミナー	ベックマン・コールター
12月16日		日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会	日本乳腺甲状腺超音波医学会
12月8日		ARKRAY 学術定例 WEB 勉強会	アークレイ
12月9日		第27回 SRL 感染症フォーラム 過去を踏まえて未来へ向かう感染対策	SRL
12月15日		第32回 関東感染症懇話会	関東感染症懇話会
12月16日		第9回ライサス学術交流会のご案内	鳥津ダイアグノスティクス株式会社
2月9日	2月12日	第35回日本臨床微生物学会総会・学術集会	日本臨床微生物学会
2月12日	3月10日	第5回感染症領域検査研究会 Web セミナー	ベックマン・コールター株式会社
2月24日		第24回 KEMS 研究会学術集会	KEMS 研究会 (Keio Endocrine & Metabolite Survey)

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
3月14日		第7回 道場山本のちょっと！これっ教えて	株式会社 GramEye

(4) 薬剤部

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
4月13日		神奈川県病院薬剤師会 4月薬学合同研修会	神奈川県病院薬剤師会
4月20日		第7回 川崎市薬剤師会症候学研修会	川崎市薬剤師会
4月26日		第3回 もっと幸せな医療研究会	もっと幸せな医療研究会
5月9日	5月10日	第38回 日本臨床栄養代謝学会学術集会	日本臨床栄養代謝学会
5月11日		神奈川県病院薬剤師会 5月薬学合同研修会	神奈川県病院薬剤師会
5月17日		令和5年度 第1回神奈川がん薬物療法・専門薬剤師セミナー	神奈川県病院薬剤師会
5月26日		AZ 10 Web Seminar 肺がん複合免疫療法の可能性	アストラゼネカ
5月27日	5月28日	第16回 日本緩和医療薬学会年会	日本緩和医療薬学会
5月27日		第67回抗菌薬適正使用生涯教育セミナー	日本化学療法学会
6月1日		Meiji Seika ファルマ Web カンファレンス	Meiji Seika ファルマ
6月8日		神奈川県病院薬剤師会 6月薬学合同研修会	神奈川県病院薬剤師会
6月10日	6月11日	第25回日本医薬品情報学会総会・学術大会	医薬品情報学会
6月23日	6月24日	日本医療マネジメント学会学術総会	日本医療マネジメント学会
6月27日		第118回かわやくセミナー	川崎市薬剤師会
6月30日	7月1日	日本臨床腫瘍薬学会 Essential SeminarA	日本臨床腫瘍薬学会
7月1日		令和5年度医薬品安全管理責任者等講習会基礎編	日本病院薬剤師会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
7月3日		ファーマシーマネジメントセミナー	神奈川県病院薬剤師会
7月4日		Future Pharmacist Seminar～地域包括ケアにおける薬薬連携の～実践に向けて～	日本ベーリンガーインゲルハイム
7月7日		令和5年度 医薬品の取引実務に関する勉強会	全国自治体病院協議会
7月10日		Freestyle リブレ勉強会	アボット
7月14日		神奈川県病院薬剤師会 7月薬学合同研修会	神奈川県病院薬剤師会
7月20日		Freestyle リブレ勉強会	アボット
7月20日	7月22日	第38回日本環境感染学会総会・学術集会	日本環境感染学会
7月21日		2023年度 薬剤部会研修会	全国自治体病院協議会
7月22日		神奈川県病院薬剤師会 輸液・栄養に関する研修会	神奈川県病院薬剤師会
7月27日		抗菌薬適正使用の実践と推進	メディカルデータベース(株)
8月26日	8月27日	日本病院薬剤師会関東ブロック第53回学術大会	日本病院薬剤師会
9月2日	9月3日	第11回日本くすりと糖尿病学会学術集会	日本くすりと糖尿病学会
9月3日		サマーシンポジウム2023	サイエンス漢方処方研究会
9月4日		第119回かわやくセミナー	川崎市薬剤師会
9月5日		Future Pharmacist Seminar～地域包括ケアにおける薬薬連携の～実践に向けて～	日本ベーリンガーインゲルハイム
9月6日		令和5年度 第1回神奈川がん薬物療法・専門薬剤師セミナー	神奈川県病院薬剤師会
9月14日		神奈川県病院薬剤師会 9月薬学合同研修会	神奈川県病院薬剤師会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
9月26日		エルプラットの末梢神経症状対策	ヤクルト
9月26日		薬剤師のための輸液 Web 講演会『重症患者での輸液選択の考え方』	扶桑薬品工業
9月28日		徳島県中部 薬業連携の会	日本ベーリンガーインゲルハイム
9月30日		2023年第3回NST専門療法士更新必須セミナー	日本臨床栄養代謝学会
10月12日		神奈川県病院薬剤師会 10月薬学合同研修会	神奈川県病院薬剤師会
10月20日		令和5年度県西地区研修会	神奈川県病院薬剤師会
10月25日	10月27日	第72回日本感染症学会東日本地方会 学術集会・第70回日本化学療法学会東 日本支部総会合同学会	日本感染症学会・日本化学療法学会
10月28日	10月29日	第17回腎臓病薬物療法学会	腎臓病薬物療法学会
11月1日	12月22日	がん専門薬剤師集中講座	日本病院薬剤師会
11月3日	11月5日	第33回日本医療薬学会年会	日本医療薬学会
11月3日		第27回抗菌化学療法認定薬剤師講習会	日本化学療法学会
11月9日		神奈川県病院薬剤師会 11月薬学合同研修会	神奈川県病院薬剤師会
11月10日		医薬品安全管理責任者等講習会一般編	日本病院薬剤師会
11月10日		第40回糖尿病チーム医療のための懇話会	川崎糖尿病懇話会/ノボノルディスクファーマ
11月16日		横須賀地区研修会	神奈川県病院薬剤師会
11月21日		第120回かわやくセミナー	川崎市薬剤師会
11月24日		第45回日本手術医学会総会	日本手術医学会
11月28日	11月30日	日本救急医学会総会・学術大会	日本救急医学会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
11月29日		第4回AST講習会	日本化学療法学会
11月29日		2023年第1回薬剤師部会アドバンスセミナー	日本臨床栄養代謝学会
11月30日		第71回川崎糖尿病懇話会	川崎市薬剤師会
11月30日		患者特性に応じた薬物療法研修会	神奈川県病院薬剤師会
12月2日		第12回HIV/AIDSブロック・中核拠点病院薬剤師連絡会	HIV/AIDSブロック・中核拠点病院薬剤師連絡会
12月5日		第2回感染領域専門・認定薬剤師養成講習会	神奈川県病院薬剤師会
12月5日		病院薬剤師のための糖尿病コーチングWebセミナー	日本ベーリンガーインゲルハイム
12月11日		不整脈の病態と治療について	トーアエイヨー
12月14日		12月薬学合同研修会	神奈川県病院薬剤師会
1月8日		アレルギー性副作用～知っておきたい基礎知識と臨床応用(WEB)	日本病院薬剤師会
1月14日		病院薬剤師版バランスト・スコアカードセミナー 第1部	神奈川県病院薬剤師会
1月15日		第2回横浜・川崎地区研修会(心不全)	神奈川県病院薬剤師会
1月21日		薬剤師としてこれだけは押さえておきたい2020年民法(債券法)改正(WEB)	日本病院薬剤師会
1月21日		リハ栄養とリハ薬剤ーリハビリテーションにおける薬剤師の役割(WEB)	日本病院薬剤師会
1月21日		HIV療法の変遷と薬剤師の活動(WEB)	日本病院薬剤師会
1月23日		日本循環器学会コメディカルセミナー	日本循環器学会
1月27日		令和5年度DIスキルアップ講座	神奈川県病院薬剤師会
1月27日		新入職員に知ってほしい病院薬剤師業務の法的根拠(WEB)	日本病院薬剤師会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
1月27日		令和3年度介護報酬改定と高齢者薬物療法(WEB)	日本病院薬剤師会
1月27日		薬物相互作用の考え方とマネジメント(WEB)	日本病院薬剤師会
1月27日		「感染対策の基礎:標準予防策と経路別予防策」「薬剤耐性菌の医療現場での現状と感染対策」(WEB)	日本病院薬剤師会
1月27日		「おんどぼんのトリセツ」～患者さんの何か変に気付けるチカラ～(WEB)	日本病院薬剤師会
1月27日		研究倫理について倫理委員会の承認を得ましたか?論文投稿規定読みましたか?(WEB)	日本病院薬剤師会
1月31日		フェトロージャ Launch Seminar in Kanagawa	塩野義
1月31日		がん医療の臨床倫理	国立病院機構
2月2日		J-SIPHE 活用 Web セミナー2023	AMRリファレンスセンター
2月2日		令和5年度病院薬剤師研修	神奈川県/神奈川県病院薬剤師会
2月2日		多地点合同カンファレンス	国立病院機構
2月3日		令和5年度感染制御専門薬剤師講習会(第3回web)	日本病院薬剤師会
2月6日		薬剤師の法的役割等に関する講演会	神奈川県病院薬剤師会
2月7日		さいたま地域連携 Network～災害時の感染対策を考える～	さいたま市薬剤師会
2月8日		2月薬学合同研修会	神奈川県病院薬剤師会
2月13日		第121回かわやくセミナー	川崎市薬剤師会
2月15日		中小病院診療所委員会 精神科領域研修会	神奈川県病院薬剤師会
2月15日		第39回 日本臨床栄養代謝学会学術集会	日本臨床栄養代謝学会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
2月15日	2月16日	第39回 日本臨床栄養代謝学会学術集会	日本臨床栄養代謝学会
2月18日		病院薬剤師の魅力と期待(WEB)	日本病院薬剤師会
2月18日		褥瘡を含む高齢者の皮膚疾患について(WEB)	日本病院薬剤師会
2月20日		ユリスについて(部内研修)	持田製薬
2月27日		川崎市地域医療連携研修会	川崎市薬剤師会/沢井製薬
2月29日		第1回 薬剤師のための0から学ぶ!循環器セミナー	トーアエイヨー
3月2日		令和5年度指導者研修講演会	神奈川県病院薬剤師会
3月2日		日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2024	日本臨床腫瘍薬学会
3月4日		Pharmacy Director Seminar	第一三共
3月5日		2023年度第1回臨床推論研修会	神奈川県病院薬剤師会
3月7日		プレアボイド合同研修会	神奈川県病院薬剤師会
3月11日		NST Web研修会①	神奈川県病院薬剤師会
3月12日		令和5年度TDM研修会	神奈川県病院薬剤師会
3月14日		3月薬学合同研修会	神奈川県病院薬剤師会
3月14日	3月16日	第51回日本集中治療医学会学術集会	日本集中治療医学会
3月16日		令和6年度診療報酬改定編JB病院薬剤師フォーラム	日本血液製剤機構
3月18日		第16回神奈川県病院薬剤師感染症フォーラム	神奈川県病院薬剤師会
3月18日		NST Web研修会②	神奈川県病院薬剤師会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
3月23日		令和5年度医療政策部セミナーWeb	日本病院薬剤師会
3月24日		第12回サイエンス漢方処方研究会シンポジウム	サイエンス漢方処方研究会
3月24日		かかりつけ医療連携薬剤調整加算とLIFEの利活用について(WEB)	日本病院薬剤師会
3月26日		沢井製薬 Web セミナー 病院薬剤師関連の令和6年度診療報酬改定のポイント	沢井製薬
3月29日		2024年度診療報酬改定セミナー	メディカルデータベース

(5) 看護部

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
5月8日	12月22日	感染管理認定看護師教育課程	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター
5月12日	8月31日	認定看護管理者教育課程ファーストレベル教育課程	神奈川県看護協会
6月3日		看護補助者活用推進のための看護管理者研修	川崎市ナースングセンター
6月3日	6月30日	医療安全管理者養成研修	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター
6月13日	6月16日	結核予防 保健師・看護師等基礎実践コース	結核予防会結核研究所
6月26日		地域包括ケアにつながる入退院支援～生活者としてその人を見る	神奈川県看護協会
7月3日		事例から学ぼう褥瘡予防とケアの実際①	神奈川県看護協会
7月3日	12月11日	医療安全管理者養成研修	日本看護協会
7月4日		50歳からのキャリアの再構築～プラチナ世代の「働く」を準備しよう～	神奈川県看護協会
7月6日	7月7日	実地指導者研修Ⅰ ～はじめての新人教育～	神奈川県看護協会
7月24日	7月25日	感染リンクナースのための感染管理①	神奈川県看護協会
8月1日	10月31日	透析療法従事職員研修	日本腎臓財団

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
8月5日	8月8日	栄養サポートチーム研修	日本健康・栄養システム学会
8月23日		神奈川県看護職員認知症対応力向上研修	かながわ健康財団
9月15日		セカンドレベルフォローアップ研修	神奈川県看護協会
9月22日		看護管理者研修	全国自治体病院協議会
9月29日	1月10日	第2回看護部会オンラインセミナー	全国自治体病院協議会
10月11日	11月30日	認定看護管理者教育課程セカンドレベル教育課程	国立行政法人国立病院機構本部
10月17日	10月20日	結核予防 保健師・看護師等基礎実践コース	結核予防会結核研究所
10月19日	10月20日	明日から実践！チームで育てる安全文化～インシデント分析から安全対策の取り組みまで～	神奈川県看護協会
10月28日	10月29日	第38回神奈川県ストーリーナビゲーション講習会	北里大学病院
11月1日	12月31日	新興感染症や災害に対応災害支援ナース養成研修（オンデマンド研修）	神奈川県看護協会
11月2日	1月8日	医療安全管理者養成研修（インターネット配信研修）	神奈川県看護協会
11月7日	11月8日	高齢者の支援と認知症患者の看護	神奈川県看護協会
12月7日	12月8日	高齢者の人生最終段階における意思決定支援～患者・家族のACP～	神奈川県看護協会
12月15日		地域包括ケアにおける連携と協働～シンポジウムをとおしての多施設・多職種との連携を考える～	神奈川県看護協会
12月22日	3月31日	第3回看護部会オンラインセミナー	全国自治体病院協議会
12月23日	12月24日	ELNEC-J コアカリキュラム 看護師教育プログラム	川崎市立川崎病院
1月10日		チーム運営に必要なリーダーシップ②	神奈川県看護協会
1月15日	1月16日	感染リスクナースのための感染管理②	神奈川県看護協会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
1月20日	1月21日	新興感染症や災害に対応災害支援ナース養成研修	神奈川県看護協会
1月22日		イキイキと働き続けるために～強みを引き出すアプローチ～	神奈川県看護協会
1月31日	2月13日	令和6年度診療報酬改定概要～医療 DX をふまえた解説～(オンライン)	ヴェクソンインターナショナル株式会社
2月2日		看護管理者が知っておきたい「様式9」オンラインセミナー	一般社団法人日本施設基準管理士協会

(6) 食養科

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
4月23日		第30回神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会	神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会
4月27日		川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 介護多職種セミナー「地域で支える食支援」	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会
5月15日	6月14日	GLIM 基準の理解と実践のためのオンデマンド講座	日本栄養士会
5月31日		川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 介護多職種セミナー「嚥下障害の検査について」	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会
6月16日		川崎市病院栄養管理部会2023年度第1回研修会「最近の食中毒の発生動向と効果的な食中毒の予防と対策」	川崎市病院栄養管理部会
6月21日		神奈川県医療専門職連合会 研修会 「多職種を巻き込んだ救急医療DXの現在地」	神奈川県医療専門職連合会
6月28日	9月3日	日本栄養士会 全国栄養士大会・オンライン	日本栄養士会
7月9日		臨床栄養学セミナーI 「まだ間に合う！PES報告を自分のものにしよう。～アセスメントの新常識に遅れないために～」	神奈川県栄養士会医療事業部会
7月22日	7月23日	第10回日本糖尿病協会年次学術集会	日本糖尿病協会
8月1日	8月11日	第3回 ニュートリー×アペックス共催WEBセミナー	ニュートリー、アペックス

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
8月4日		川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 介護多職種セミナー「ベッドサイドの嚥下評価」「食事の際のポジショニングについて」	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会
8月5日	8月8日	栄養サポートチーム研修	日本健康・栄養システム学会
8月24日		集中治療領域の栄養管理	ネスレ日本株式会社
9月16日		神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会研修会「地域を彩る食支援」	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会
9月17日		パワーアップセミナー「自信が持てる！！厨房から患者へ届ける安心安全のな嚥下食～実習&実食で大量調理の1ランクアップを目指そう～！」	神奈川県栄養士会医療事業部会
9月26日		オンライントークライブ 「栄養指導のアウトカム」	神奈川県栄養士会医療事業部会
10月14日		川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会共催セミナー「人生最期まで口から食べる！を叶えるために」	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会
10月22日		臨床栄養学セミナーⅡ「栄養管理のためのフィジカルアセスメント」	神奈川県栄養士会医療事業部会
11月11日		川崎市病院栄養管理部会2023年度第2回研修会「症例から学ぶ、今知っておきたい輸液療法」	川崎市病院栄養管理部会
11月24日		川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 介護多職種セミナー「嚥下障害の外科的対応」	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会
12月14日		オンライントークライブ 「栄養部門の人材開発について」	神奈川県栄養士会医療事業部会
12月15日		川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 介護多職種セミナー「介護多職種でもできる栄養評価について」「糖尿病と食事療法～背景疾患・病期による相違・注意点～」	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
12月23日		災害対策知っておきたい支援制度	神奈川県医療専門職連合会
1月26日	1月28日	日本病態栄養学会年次学術集会	日本病態栄養学会
1月31日		川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 介護多職種セミナー「NST 嚥下連絡票の活用で考える地域の栄養ケア」	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会
2月15日	2月16日	日本臨床栄養代謝学会 学術集会 (JSPEN2024)	日本臨床栄養代謝学会
2月25日		第24回神奈川県糖尿病療養指導研究会 Web 研修会	神奈川県糖尿病療養指導研究会
3月12日		神奈川県栄養士会 栄養学術研修会	神奈川県栄養士会
3月14日		オンライントークライブ 「部門運営のノウハウ」	神奈川県栄養士会医療事業部会

(7) 地域医療部・在宅緩和ケアセンター

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
6月3日	11月27日	2023年度がん相談員継続研修認定更新コース(オンライン)	国立がん研究センター
6月11日	11月31日	がん相談支援センター 相談員研修1.2(eラーニング)	国立がんセンター
7月7日		小児・AYA 世代がん患者等に対する妊孕性温存研究会促進事業研修会(オンライン)	神奈川県がん診療連携協議会
9月5日		イキイキと働き続けるために ~強みを引き出すアプローチ~	神奈川県看護協会
9月13日		病院と看護職の連携交流会~訪問看護からよりわかりやすいサマリーを考えてみよう~	川崎市看護協会
9月25日		自部署の強みを引き出すデータ活用(ZOOM)	神奈川県看護協会
10月21日	11月23日	意思決定支援の本質に迫るーその人らしい生き方を支えるために看護は何ができるのかー(オンデマンド)	木村看護教育振興財団
10月28日		コロナ禍で継承されなかった看護を取り戻そう~家族看護の視点から~	神奈川県看護協会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
11月11日		がん体験者を疑似体験することから始める両立支援(オンライン)	千葉県がん診療連携協議会
11月12日		スピリチュアルケアを考える	神奈川県看護協会
12月10日 12月24日 1月7日		死に向き合う文化を学ぶ ー儀礼・アート・交わりとケアカー	上智大学 グリーフケア研究所
12月15日		地域包括ケアにおける連携と協働～シンポジウムを通して多施設・多職種との連携を考える～	神奈川県看護協会
12月15日		ワークショップ 私たちが働き続けたい職場を研究者とともに創造しよう！	川崎市看護協会 労働環境改善推進委員会
12月22日		がん患者の自殺対策について(オンライン)	神奈川県がん診療連携協議会
2月6日		病院看護管理者が先を読み考える～診療報酬・介護報酬の同時改定を控えて～(ZOOM)	神奈川県看護協会
2月15日		がん診療連携拠点病院のPDCAチェックリストの公的な活用を考える(オンライン)	神奈川県がん診療連携協議会
2月24日	2月25日	第38回日本がん看護学会(オンライン)	日本がん看護学会

2 実習指導

(1) 薬剤部

期 間	実習指導名	学 校 名	担当課	人数
5月22日～8月6日	病院実務実習	慶應義塾大学	薬剤部	1
5月22日～8月6日	病院実務実習	横浜薬科大学	薬剤部	1
8月21日～11月5日	病院実務実習	慶應義塾大学	薬剤部	1
8月21日～11月5日	病院実務実習	横浜薬科大学	薬剤部	1

(2) 看護部

期 間	実習指導名	学 校 名	担当課	人数
5月8日～6月30日	老年看護学実習Ⅱ	川崎市立看護短期大学	看護部	40
5月8日～6月29日	在宅看護論実習	川崎市立看護短期大学	看護部	8
5月29日～6月13日	統合実習	神奈川県立保健福祉大学	看護部	3
6月15日～6月16日	看護学概論	東京医療保健大学	看護部	5
6月26日～6月30日	統合実習 (基礎看護・看護管理領域)	武蔵野大学	看護部	4
7月3日～7月7日	成人看護実践論ⅢB (緩和ケア)	神奈川県立 衛生看護専門学校	看護部	2
7月10日～7月25日	基礎看護学実践Ⅱ	横浜中央看護専門学校	看護部	5
7月3日～7月13日	基礎看護学実習Ⅱ (前半)	川崎市立看護大学	看護部	19
7月24日～8月3日	基礎看護学実習Ⅱ (後半)	川崎市立看護大学	看護部	19
7月11日～7月20日	統合看護実習 (地域看護学領域在宅看護学)	東京工科大学	看護部	2
9月19日～10月27日	老年看護学実習Ⅱ	川崎市立看護短期大学	看護部	30
10月16日～10月27日	在宅看護論実習	川崎市立看護短期大学	看護部	2

期 間	実習指導名	学 校 名	担当課	人数
9月21日～10月3日	基礎看護実習	武蔵野大学	看護部	6
10月30日～11月8日	老年看護学実習	聖路加国際大学	看護部	10
11月6日～11月16日	テーマ別看護論実習 (リハビリテーション・マネジメント)	川崎市立看護短期大学	看護部	11
11月6日～11月16日	テーマ別看護論実習 (終末期患者の看護)	川崎市立看護短期大学	看護部	5
11月6日～11月16日	テーマ別看護論実習 (在宅看護論)	川崎市立看護短期大学	看護部	2
11月20日～12月6日	統合実習	神奈川県立衛生看護専門学校	看護部	8
11月20日～11月30日	基礎看護学Ⅰ	川崎市立看護大学	看護部	40
12月4日～12月12日	終末期ケア実習	慶応義塾大学	看護部	3
1月15日～1月23日	終末期ケア実習	慶応義塾大学	看護部	3
1月10日～1月25日	基礎看護実践論Ⅱ	神奈川県立衛生看護専門学校	看護部	4
1月30日～2月15日	慢性期看護実習	神奈川県立衛生看護専門学校	看護部	8
11月27日～12月22日	認定看護師教育課程	聖路加国際大学	看護部	2
合計				241

VII 委員会

2023年度 院内各種委員会一覧
 ＊掲載内容は2023年度のもの

No.	名 称 目的や内容	委員長	役職	実施時期
1	医療安全管理委員会 医療事故の防止策の企画立案、患者の安全確保、適切な医療の提供体制の確立、安全に係る委員会の統括	伊藤 大輔	病院長	毎 月
2	医療安全部会 インシデントレポート・事故報告書の事例分析、安全対策の実施	西尾 和三	内科部長	毎 月
3	検査診断報告書等確認対策部会 画像診断報告書、病理診断報告書の確認漏れのチェック、及び報告書管理のための支援と業務管理	西尾 和三	内科部長	毎 月
4	院内感染対策委員会 院内感染の予防策の作成、予防対策の監視・指導等による感染防止	中島 由紀子	感染症内科部長	毎 月
5	感染部会 患者・職員における感染対策の徹底と質の向上	中島 由紀子	感染症内科部長	毎 月
6	輸血療法委員会 輸血の安全確保、事故防止、輸血業務の適正・円滑な処理、血液製剤の有効利用の向上	中塚 逸央	麻酔科部長	隔 月
7	放射線安全委員会 放射線障害の防止、安全の確保、放射線発生装置の安全管理の徹底	福原 昇	放射線治療科部長	随 時
8	医療ガス安全管理委員会 医療ガス設備の安全管理による患者の安全確保	中塚 逸央	麻酔科部長	年1回
9	衛生委員会 職員の健康障害の防止と健康の保持増進及び職場環境の改善	鈴木 貴博	副院長	毎 月
10	働き方改革推進委員会 病院職員の勤務環境を改善する取組の推進、医師や看護職員の負担の軽減、処遇改善に関する取組計画を作成し、評価や見直しを行う	伊藤 大輔	病院長	随 時
11	薬事委員会 医薬品の適正管理、効率的な運用の審議、薬物療法の向上	小林 岳	副薬剤部長	毎 月
12	医療機器管理委員会 院内に配置されている医療機器の管理・調整	中塚 逸央	麻酔科部長	随 時
13	透析機器安全管理委員会 透析液水質確保加算の施設基準届出に必要な適切な水質管理実施や透析機器等の管理計画の作成	滝本 千恵	腎臓内科部長	随 時
14	医療放射線管理委員会 放射線診療のプロトコール管理、被ばく線量管理、放射線の過剰被ばくその他放射線診療に関する事例発生時の対応等、診療用放射線の安全利用に係る管理	山下 三代子	放射線診断科部長	随 時
15	医療事故防止対策委員会 診療内容の監査機関	西尾 和三	内科部長	随 時
16	治験・臨床研究倫理審査委員会 倫理的、科学的及び医学的妥当性の観点から治験・臨床研究の実施及び継続の審議	鈴木 貴博	副院長	隔 月
17	倫理委員会 医療行為に関し、倫理的・社会的観点からの審査	掛札 敏裕	副院長	随 時
18	保険委員会 保険診療及び保険請求の適正化向上	岩口 壮吉	婦人科部長	毎 月
19	DPC委員会 DPC制度に関する研修の実施	荒川 清隆	医事課長	毎 月
20	診療情報管理委員会 入院外来等診療情報の管理・運用の向上、システムの検討	水谷 憲生	整形外科部長	毎 月
21	医療情報システム安全管理部会 電子カルテシステムをはじめ、各部門システムについての協議・検討	田中 良典	事務局長	随 時
22	診療録管理委員会 サマリの作成、推進、管理、カルテ、訪問記録の質的向上の検討	金澤 寧彦	糖尿病内科部長	毎 月
23	救急医療運営委員会 救急医療の取り組みの充実・強化	田熊 清継	救急総合診療センター所長	毎 月
24	当直検討部会 当直業務における問題点、課題の共有と解決策の検討	鈴木 貴博	副院長	毎 月
25	院内救急対応部会 救急医療チームの院内急変対応・対策について検討する	中垣 達	呼吸器内科副医長	毎 月
26	RST（呼吸サポートチーム）部会 RSTの運用等に関することを検討する	西尾 和三	内科部長	毎 月
27	災害時医療等委員会 災害医療に関する準備、企画検討、訓練の実施	下澤 信彦	医長	毎 月

No.	名称	委員長	役職	実施時期
	目的や内容			
28	DMA T 部会 DMA T の運用について検討を行う	下澤 信彦	医長	毎月
29	地域連携委員会 地域の医療機関との連携及び支援の推進、地域医療支援病院の認定を図る	水谷 憲生	整形外科部長	毎月
30	地域がん診療連携拠点病院推進委員会 地域がん診療連携拠点病院としての体制整備・推進	嶋口 恭輔	乳腺外科部長	毎月
31	がん患者の病態に応じた、より適切ながん医療の提供を図る	嶋田 恭輔	乳腺外科部長	随時
32	化学療法管理委員会 実施される化学療法のレジメン（治療内容）の妥当性の評価・承認	西尾 和三	内科部長	毎月
33	クリニカルパス委員会 クリニカルパスの作成・運用	中塚 逸夫	麻酔科部長	毎月
34	褥瘡対策委員会 褥瘡対策の企画立案、対策の推進、管理・運営	安西 秀美	皮膚科部長	隔月
35	NST(栄養サポートチーム)運営委員会 栄養管理を通し、安全で効率的な医療サービスの提供へ寄与	栗原 夕子	内科担当部長	毎月
36	給食委員会 食事療法の質の向上	栗原 夕子	内科担当部長	隔月
37	職員研修委員会 教育研修に関する企画・実行・評価による職員の資質の向上	鈴木 貴博	副院長	随時
38	研修管理委員会 初期臨床研修の企画立案、運用管理	中野 泰	呼吸器内科担当部長	随時
39	看護師特定行為研修部会 地域における医療・介護の総合的な確保を推進するため、特定行為を実施する看護師を計画的に養成	鈴木 貴博	副院長	随時
40	図書委員会 図書室の適正な選出と医療情報の収集・提供による職員の業務の向上	金澤 寧彦	糖尿病内科部長	毎月
41	機種・診療材料選定委員会 導入する機器の仕様決定、公平かつ適正な機種確保及び医療機器の試用の検討、効率的な物品調達	掛札 敏裕	副院長	随時
42	市民交流・サービス向上委員会 患者サービスの向上及び職場環境の向上	篠山 薫	副院長	毎月
43	ホームページ・広報委員会 ホームページの管理、広報「井田山」の編集企画、発行管理	田中 良典	事務局長	随時
44	臨床検査管理委員会 臨床検査の適正化・能率化を図る	岩田 壮吉	婦人科部長	随時
45	外来診療委員会 外来診療に関する諸問題の調整・検討	西尾 和三	内科部長	随時
46	手術部委員会 手術室の有効な運営管理を図る	中塚 逸夫	麻酔科部長	毎月
47	HCU委員会 ICU・CCUの有効な運営管理を図る	中塚 逸夫	麻酔科部長	隔月
48	院内がん登録運用委員会 地域がん診療連携拠点病院の指定要件A項目に追加された要件、「院内がん登録の運用上の課題の評価及び活用に係る規定の策定等を行う機関（委員会）を設置している」への対応	掛札 敏裕	副院長	随時
49	地域包括ケア病棟運営委員会 地域包括ケア病棟への入院の可否の判定、入院順位の決定、その他入院に関すること	水谷 憲生	整形外科部長	隔月
50	緩和ケア委員会 緩和ケアの提供、運用が適切・円滑に行われるよう体制の整備・促進を図る	佐藤 恭子	緩和ケア内科部長	毎月
51	がんサポート・緩和ケア部会 がん患者とその家族に対し、質の高い緩和ケアを提供し、QOLの向上を目指す	増田 香織	緩和ケア内科医長	随時
52	病床管理運営委員会 病床の適正な管理運営を図るとともに、病棟の個室料金についても検討する	掛札 敏裕	副院長	随時
53	ハラスメント防止対策委員会 セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント及び妊娠・出産・育児又は介護に関するハラスメントの防止及び対策を講じる	伊藤 人輔	病院長	随時
54	糖尿病サポートチーム運営委員会 糖尿病ケアの向上	金澤 寧彦	糖尿病内科部長	毎月
55	認知症ケア委員会 認知症ケアの質の向上	三島 牧	脳神経外科部長	毎月

1 医療安全管理委員会

毎月第4木曜日を定例日として開催しました。医療安全部会・を下部組織に持ち、院内感染対策委員会、輸血療法委員会、放射線安全委員会、医療ガス安全管理委員会、衛生委員会、薬事委員会、医療機器管理委員会を統括しており、各委員会での決定事項の周知の徹底と提案事項の検討及び承認、懸案事項についての検討を図りました。

(文責 [医療安全管理室] 小海 照美)

2 医療安全部会

毎月第3火曜日を定例日として、各部門の毎月のインシデント報告の集計や医療安全情報の共有とともに、個々の事例の原因分析や再発防止策の具体的検討などを行いました。

2023年度は医療安全管理マニュアルをカテゴリーごとに整理し、活用できる表記の視点で見直し修正を行いました。また医療安全週間を活用し、医療安全啓蒙活動推進のためのポスターを各部門で作成し外来廊下へ掲示しました。外来患者さんに「いいね投票」をして頂き院内の医療安全への取り組みを共有しました。今後も、患者参加型の医療安全推進活動に取り組んでいきます。

(文責 副委員長 [医療安全管理室] 小海 照美)

3 検査診断報告書等確認対策部会

毎月第4木曜日を定例日として開催しました。検査診断報告書等確認対策部会は、検査課、病理診断科、放射線診断科、庶務課、医事課、医療安全管理室で連携し報告書の確認漏れがないように相互チェックに取り組みました。

(文責 副委員長 [医療安全管理室] 小海 照美)

4 院内感染対策委員会

毎月第2月曜日を定例日として、BSI(中心静脈カテーテル由来血流感染)、UTI(尿道留置カテーテル関連尿路感染)、SSI(手術部位感染)サーベイランス結果、針刺し・切創・粘膜暴露の報告、研修会開催の周知、感染症発生の際には事例報告と対策の共有、院内ラウンド結果共有を行います。検査科からは血液培養汚染率・転入院患者の保菌状況・耐性菌検出状況・一般細菌培養検査と AST(抗菌薬適正使用支援チーム)介入状況報告があります。薬剤部からは、届出対象抗菌薬の使用状況、長期使用患者数、AST 介入状況等について報告があります。感染症対策として医療従事者(委託業者含む)や患者さん等病院内の全ての人がマスクを着用するユニバーサルマスクと手指衛生履行に努めています。さらにワクチン接種やマニュアルに沿った感染対策の対応で院内感染防止に努めています。

(文責 副委員長 [感染対策室] 福島 貴子)

5 感染部会

感染部会は院内感染対策委員会の下部組織として設置し、日々の感染対策の見直し・改善・啓発活動に取り組んでいます。部会構成部署として、診療部・看護部・薬剤部・検査科・放射線科・リハビリテーション科・ME 管理室・食養科・事務部門で構成、組織的な活動を継続して実施しています。

取り組み内容として

(院内教育) 感染対策の知識を深めるために感染経路別予防策と手指衛生についての勉強会を企画実施しました。また、その内容を各部署で伝達講習を行い、知識の向上を推進しました。各部署で手洗い啓発ポスターを作成し、掲示しました。

(業務見直し) 主に部門ごとのマニュアルや手順書の見直し・修正を実施しました。昨年度作成した環境清拭ワイプ使用方法と感染症対応フローについて使用状況の確認と再周知を行いました。今後も適宜見直しを行い、対策の

実施に取り組んでいきます。

(手指衛生) 感染対策の基本となる手指衛生を推進するため、毎月の使用量調査や啓発活動を実施しました。各部署別の個人使用量の上位ランク者についてポスターを作製し掲示しました。今後も適切な場面で手指衛生が実施できるよう調査の実施やフィードバックによる啓発活動を行っていきます。

(院内ラウンド) 電子カルテ端末、個人防護具、感染性廃棄物について調査し、結果を掲示・フィードバックを行いました。今後も感染対策の観点から、院内の様々な場所をラウンドし現状調査と改善策の提示を行っていきます。

(文責 副部長 [感染対策室] 福島 貴子)

6 輸血療法委員会

2023年度の輸血療法委員会は、6回開催しました。血液製剤の使用状況や院内輸血療法に関する問題点、改善点等を中心に、輸血療法の適正化に努めました。

1 主な検討項目

- 廃棄血液削減に向けた取り組み① 血液製剤期限切迫メール配信の開始
- 廃棄血液削減に向けた取り組み② 新鮮凍結血漿製剤 在庫製剤の規格変更
- 診療材料 (輸血セット) の見直し

2 輸血用血液製剤の使用状況

輸血管理料Ⅱ (110点) + 適正使用加算 (60点) 取得しています。

血液製剤	単位数
赤血球製剤	1,782
新鮮凍結血漿製剤	32
濃厚血小板製剤	1,025
HLA 適合血小板製剤	0
洗浄血小板製剤	0
自己血	82
合計	2,921
輸血患者数 (実人数)	529
FFP/RBC 比 (0.27 以下)	0.01

アルブミン製剤	本数
高張アルブミン [12.5g/50ml/瓶]	388
等張アルブミン [11.0g/250ml/瓶]	21
アルブミン使用量 (g)	5,081.0
アルブミン使用量 (単位)	1,693.7
投与患者数 (実人数)	90
アルブミン使用比 (2.0 以下)	0.9

3 副作用報告

副作用発生は11名、11症状でした。副作用報告内訳は以下の通りです。

投与製剤	赤血球製剤	新鮮凍結血漿製剤	血小板製剤	自己血	合計
報告数	7	0	3	1	11

4 院内研修会

本年度は2回開催しました。

第1回 2023年8月4日 「安全な輸血のために」

講師 神奈川赤十字血液センター学術課 長谷川志織氏

第2回 2024年3月 「輸血インシデント報告」

編集担当 検査科 矢野 佐知子

第1回は輸血関連部署新人職員を対象に、第2回は誌面開催方式で関係各部署へ資料を配布し研修としました。

本年度も無事故であったことを皆様に感謝致します。

(文責 委員会事務局 矢野 佐知子、委員長 中塚 逸央)

7 放射線安全委員会

放射線安全委員会は、放射性同位元素等の規制に関する法律（昭和32年法律第167号）により定めた「井田病院放射線障害予防規程」に基づき、放射線発生装置を安全に管理運用するために必要な事項について調査及び審議を行っています。

本年はリニアック装置の第三者機関による出力線量の評価を受け、リニアック装置の安全性を確認しています。当委員会は2023年2月、書面による持ち回り会議により開催し、報告事項は承認されました。

主な報告事項は以下のとおりとなります。

- ・放射線業務従事者の管理状況について
- ・放射線管理状況報告書の原子力規制委員会への提出について
- ・放射線施設自主点検結果について
- ・医用放射性廃棄物の廃棄状況について
- ・放射線治療関連機器の管理状況について
- ・放射線計測器の標準校正について
- ・治療用照射装置出力線量の第三者機関による出力線量の測定結果について

(文責 副委員長 [放射線診断科 担当課長] 山本 桂一)

8 医療ガス安全管理委員会

2023年度は、2月27日（火）に委員会を開催しました。

委員会の中で、2022年度の医療ガス設備保守点検は、6・9・12・3月に実施したこと、各病室等に設置してあるアウトレットバルブやスライドベースに各所で緩みがある箇所を、増し締めして対応したこと、その他には異常がないことが報告されました。その他、点検以外の措置として、医療ガスアウトレットバルブの交換、医療ガス警報盤の不具合対応、空気除湿装置(エアラインスターE900D)No2ラインのプレフィルター、アフターフィルター、ファイナルフィルター、ファイナルフィルターの交換作業、圧力センサー及び酸素 CE タンク警報装置の不具合対応、OP 室ステーション内医療ガス警報盤(酸素)のセンサー交換を実施したことが報告されました。

また、CE設備(液酸タンク)定期自主検査を7月と1月に実施し、それぞれ異常がなかったこと、医療ガス設備の日常点検についても、異常や故障等がなかったことが報告されました。

他に、2022年度病院立入検査(医療監視)の中で、医療ガス設備の書類審査の結果、特に指摘事項等がなかったことが報告されました。

医療ガス安全点検に係る業務の監督責任者に中塚委員長、実施責任者に濱田副委員長が任命されました。

(文責 書記 [庶務課] 月岡 弘孝)

9 衛生委員会

[構成]

衛生委員会は、毎月第3木曜日に開催し、今年度は12回開催しました。

委員の構成は医師5名(産業医4名含)、衛生管理者1名、看護師2名、診療放射線技師1名、庶務課事務職1名、労働組合員5名、保健相談員1名の計16名となっています。

労働安全衛生法第18条に基づき、職員の健康障害の防止と健康の保持増進および快適な職場環境の形成促進を目的としており、公務災害の原因および再発防止対策で衛生に係わるもの、その他衛生管理に関する事項について調査・審議しました。

[定期健康診断等]

例年のとおり、定期健康診断(雇入れ時健診・人間ドック含む)、深夜業務従事者健康診断、電離放射線業務者健康診断などの健診を行いました。表1に健康診断受診状況を示します。

[各種ワクチン接種]

抗体価の著しく低い職員に対し、B型肝炎、麻疹、風疹、水痘及びムンプスのワクチン接種をしました。また、秋には原則的に全職員に対し、インフルエンザワクチンの接種を行いました。表2に接種状況を示します。

[公務災害等]

2023年度の公務災害及び通勤災害の認定請求件数は25件でした。針刺し事故の中で、血液媒介型感染リスクのあるものは1件でした。表3に請求状況を示します。

[職場巡視]

産業医・衛生管理者の視点から、安全衛生についての目的を定めて巡視を行い、各職場へのフィードバックに努めました。

(文責 書記 [庶務課] 中本 琴音)

表1 2023年度 定期健康診断等受診状況

健康診断(検診)の内容	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)
定期健康診断	720	698	96.9%
電離放射線健康診断(前期)	104	98	94.2%
電離放射線健康診断(後期)	104	97	93.3%
有機溶剤等取扱者健康診断(前期)	8	8	100.0%
有機溶剤等取扱者健康診断(後期)	7	7	100.0%

表2 2023年度 ワクチン接種状況

ワクチンの種類	接種者数(人)
HBワクチン	34
麻疹ワクチン	77
風疹ワクチン	37
麻疹風疹混合ワクチン	51
水痘ワクチン	16
ムンプスワクチン	72
インフルエンザワクチン	925

表3 2023年度 公務災害請求状況

疾病名	職種	被災日	治療	種類
左示指ヒト咬創	看護師	2023/4/11	通院	公務災害
左膝関節部挫創	看護師	2023/5/4	通院	公務災害
左手第1指刺傷	看護師	2023/5/9	通院	公務災害
左上腕圧挫傷	言語聴覚士	2023/5/18	通院	公務災害
右手第1指刺傷	看護助手	2023/6/21	通院	公務災害
左手第3指刺傷	医師	2023/6/21	通院	公務災害
左環指手蜂巣炎 左環指化膿性伸筋腱炎	看護師	2023/6/28	通院	公務災害
左示指皮膚びらん	看護師	2023/8/1	通院	公務災害
左手指挫創	看護師	2023/8/1	通院	公務災害
左手第1指刺傷	臨床検査技師	2023/8/4	通院	公務災害
感染血液による汚染の疑い	臨床検査技師	2023/9/17	通院	公務災害
右手第2指咬創	看護師	2023/9/25	通院	公務災害
左膝打撲 右肩打撲	医師事務作業補助	2023/10/6	通院	公務災害
右手関節打撲傷	臨床検査技師	2023/10/12	通院	公務災害
左前腕打撲	医療相談業務嘱託員	2023/12/25	通院	公務災害
左肩甲骨骨折	事務職員	2024/1/4	通院	通勤災害
頭部打撲 髄膜種の疑い	看護師	2024/2/2	通院	公務災害
右膝関節捻挫	看護師	2024/2/6	通院	通勤災害
擦過創	看護師	2024/2/6	通院	公務災害
切創	看護師	2024/2/6	通院	公務災害
表在性皮膚感染症	看護師	2024/2/8	通院	公務災害
左手薬指切創	看護助手	2024/2/8	通院	公務災害
右眼球打撲傷	看護師	2024/2/14	通院	公務災害
右手舟状骨骨折	医師	2024/3/13	通院	公務災害
左足捻挫	医師事務作業補助	2024/3/15	通院	通勤災害

10 働き方改革推進委員会

働き方改革推進委員会は、井田病院に勤務する病院職員の勤務環境の改善、医師及び看護職員の負担の軽減ならびに処遇の改善に関する取組計画を作成し、評価や見直しを行うことを目的としています。当委員会を設置するまでは病院職員の勤務環境等については他の会議や委員会等で議論していましたが、2018年2月に厚生労働省の医師の働き方改革に関する検討会より「医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組」が示されたこともあり、川崎市病院長の方針として井田病院においても、2018年10月に当委員会を独自に設置する運びとなりました。

委員会では、病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の評価及び見直しを行うほか、医師労働時間短縮計画の作成やタスクシェアの課題等についての意見交換を行いました。また、各医師の時間外勤務実態を把握

し、必要に応じて院長ヒアリングを行う等、長時間勤務の是正に努めました。

さらに、2024年4月1日から施行される改正医療法により、医師に対する時間外労働の上限規制が適用されることから、月80時間を超える医師について、所属診療科で改善策を講じて、必要に応じて院長ヒアリングを実施するなどし、医師の時間外を年間960時間以内となるよう努めました。

今後も病院職員の勤務環境改善のため委員会としての役割を担っていきたいと考えております。

(文責 委員長 [病院長] 伊藤 大輔)

11 薬事委員会

薬事委員会は、開催日を毎月第4月曜日と規定し、2023年度は8回開催しました。

委員の構成は、医師8名、看護師1名、検査技師1名、医事課事務職1名、薬剤師2名の計13名です。

院内・外で使用する医薬品や検査試薬等に関する新規採用の可否および採用中止薬品についての審議のみならず、医薬品に関する様々な情報の共有や、問題点の検討等も行っております。

1 院内院外共通採用薬及び院外専用採用薬の審議について

新規採用の申請医薬品は「薬事委員会要綱」に基づいて審議し、その結果を院長等に答申し、承認を得て使用可能となります。

2023年度に答申・承認された医薬品は、院内院外共通採用薬：27品目（規格切り替えを除く）、院外専用採用薬：19品目でした。また、一定期間使用実績のない薬品について、院内採用を取りやめる取り組みを行うことにより、採用薬品数の削減にも努めています。

後発医薬品への切り替えも鋭意進めており、2023年度末における後発医薬品使用率（数量ベース）は、89.8%であり、国の指標とする80%をクリアしています。

2 薬事委員会の議事録要旨

薬事委員会の議事録要旨は、その都度、電子カルテトップ画面、薬事委員会からのお知らせに掲示しています。

(文責 [薬剤部] 藤原 史江)

12 医療機器管理委員会

医療機器管理委員会は医療機器における保守点検計画の策定、保守点検の実施確認、医療機器教育研修、医療機器安全情報周知等、医療機器の運用・管理について検討しています。隔月（偶数月）第4水曜日に開催し、2023年度の主な活動内容は以下の通りです。

- ① 医療機器購入廃棄情報の集約と配置状況の確認。
- ② 医療機器年間保守計画書の作成と実施確認。
- ③ 委員会による医療機器研修の実施と部署研修の把握。
- ④ 医療機器安全情報の共有と検討。

今後も医療機器管理委員会では医療機器の適正な運用・管理に努めてまいります。

(文責 副委員長 [MEセンター担当係長] 千葉 真弘)

13 透析機器安全管理委員会

透析で使用する透析用水は、洗浄・準備・治療における全ての工程で使用するため、適切な品質管理が求められます。また、透析装置は高度管理医療機器に該当するため適切な保守管理が求められます。当委員会ではこれら品質管理や保守管理の状況を毎月確認し、問題発生時は改善に向けた対策を検討しています。2023年度もこれまでと同様、適切な管理が実施され透析用水・透析装置ともに高い水準を維持しています。今後も細心の注意を払い適切な管理に努めてまいります。

(文責 副委員長 [MEセンター担当係長] 千葉 真弘)

14 医療放射線管理委員会

医療放射線管理委員会は、医療法施行規則の一部を改正する省令（平成31年厚生労働省令第21号）により定めた「診療用放射線の安全利用のための指針」に基づき診療用放射線の安全かつ有効な利用を確保するため、調査及び審議を行っています。当委員会は2023年3月、書面による持ち回り会議により開催し、報告事項は承認されました。

主な報告事項は以下のとおりとなります。

(1) 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全利用のための研修について

研修は「医療用診療放射線の利用に係る安全な管理のための研修」のテキストを配布し、確認問題の解答をもって研修修了としています。研修対象者は213名(86.4%)であり、その内訳は、医師95名(69.5%)、看護師65名(100%)、臨床工学技士7名(100%)、診療放射線技師23名(100%)、医師事務22名(100%)となっています。なお、カッコ内の数値は確認問題の回収率を示します。

(2) 線量管理の対象となる医療機器に応じた実施記録の管理について

CTの線量管理については、CT診断参考レベルと当院のCT線量との比較、IVRの線量管理については、IVR装置の更新前後の透視線量の比較を行い、そのプロトコルの最適化を図っています。

なお、本指針は、電子カルテのトップページ お知らせ欄の「放射線科」に掲載されています。

(文責 委員長 [放射線診断科部長] 山下 三代子)

15 医療事故防止対策委員会

医療事故防止対策委員会は、医療事故の原因究明と再発防止を目的に開催します。2023年度は1回開催しました。

(文責 [医療安全管理室] 小海 照美)

16 治験・臨床研究倫理審査委員会

本委員会は、井田病院において実施予定の治験や臨床研究について、倫理的、科学的及び医学的・薬学的観点から、実施の妥当性を審査しています。

2023年度は2回開催し、治験0件、臨床研究2件、製造販売後調査3件について審査を行いました。

本委員会の手順書、委員名簿及び議事録は、井田病院のホームページに掲載しています。

(文責 委員会事務局 [薬剤部] 齋藤 雄一朗)

17 倫理委員会

当委員会は、院内で行われる医療行為及び医学の研究について、倫理的、科学的及び社会的観点から審査を行うことを目的としております。2023年度は、検討課題がありませんでした。

(文責 書記 [庶務課] 中本 琴音)

18 保険委員会

当委員会は、保険診療及び診療報酬請求の適正化・向上を目的として活動しています。

委員の構成は、医師 18 名、看護師 1 名、薬剤師 1 名、臨床検査技師 1 名、診療放射線技師 1 名、事務職員 5 名の計 27 名です。

査定内容を審査支払機関ごとに分析し、医学的判断による査定について積極的に再審査請求を実施した結果、2023 年度の査定率は 0.15% となりました。

また、保険診療の適正化及び診療報酬請求の精度向上の取り組みとして、岩田壮吉婦人科部長による勉強会「保険診療とレセプト審査」、「DPC 制度の理解のために」を実施しました。初期研修医及び専攻医を中心に、保険医療制度や保険医療費担当規則、DPC 制度について理解を深めました。

今後も適正な保険診療・診療報酬請求が行えるよう活動を継続して行ってまいります。

(文責 書記 [医事課] 横倉 悦美)

19 DPC委員会

当委員会は、「適切な DPC コーディング」を行う体制の構築・維持を目的とし活動しています。

委員の構成は、医師 18 名、看護師 1 名、薬剤師 1 名、臨床検査技師 1 名、診療放射線技師 1 名、事務職員 5 名 (診療情報管理士 1 名) の計 27 名です。

当院は DPC 対象病院として 13 年目となりました。

DPC 制度の概要、DPC データの分析結果について勉強会を実施し、DPC についての理解を深めました。

2003 年の発足当初は 1860 で開始した診断群分類も今では 4000 を超え、より精度の高い DPC コーディングが求められています。今後も医師、診療情報管理士、DPC 担当者が協力し適切な DPC コーディングができるよう、体制の構築・維持に努めてまいります。

(文責 書記 [医事課] 横倉 悦美)

20 診療情報管理委員会

本委員会は医師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、栄養士、医事課、庶務課、富士通のシステムエンジニア (以下、S.E) 等の委員で構成されており、今年度は 10 回委員会を開催しました。

本委員会では、病院業務の中で生じた電子カルテ等のシステム上の問題点を、その都度各部署から挙げていただき、本委員会で検討のうえ、S.E を通じて修正することにより病院業務が円滑に行えるようにしています。

1 月には電子カルテのバージョンアップが行われ、皆様の御協力により円滑に終了いたしました。

今後も引き続き井田病院のシステム諸課題について、改善に向かうよう検討を行ってまいります。

(文責 委員長 [糖尿病内科部長] 金澤 寧彦)

21 医療情報システム安全管理部会

2023 年 8 月に立ち上げた医療情報システム安全管理部会は各部門からシステムに関連する職員が集まりサイバー攻撃やシステムのセキュリティについての話し合いを行っています。

2023 年度は 7 回 (月 1 回) の部会を開催し、厚生労働省のサイバーセキュリティを確保するための必要な措置としてサイバーセキュリティ対策チェックリストを満たすための取り組みを行いました。その際、外部委託業者が管理する VPN 装置等のファームウェアが最新であるか等の確認をしました。そのほかにはサイバー攻撃を受けた初動対応に備え、外部接続している事業者用のリモートメンテナンス回線の設置場所を院内の図面に落とし込む作業を

実施しました。

2024年度、医療情報システム安全管理部会はシステム停止を想定した紙カルテ運用の机上訓練に加え、サイバー攻撃を想定した事業継続計画(BCP)の策定を目標とします。

(文責 書記 [医事課] 和田 直哉)

22 診療録管理委員会

2012年度に診療情報管理委員会の部会として組織されていた診療録管理部会は、2013年度から委員会に昇格して活動を開始しました。

2023年度は、委員会を4回開催しました。

2023年4月から新しい個人情報保護制度がスタートしたことに伴い、保有個人情報の開示請求者の考え方や申請様式等が変更となったことを説明しました。

前年度に引き続き、電子カルテ内に新規登録や変更を提案された帳票の承認、修正などの審査を行いました。さらに今年度は、説明書・同意書について、川崎病院の書式に倣い、患者さんが理解に難渋する表現等の修正及びセカンドオピニオンの追記の承認を行うとともに、医療安全管理室から新規掲載依頼がありました同意撤回書も承認とし、運用が開始されました。また、前年度以前から審議を行ってきた診療情報管理規程の改定作業についても、委員会として承認とし、来年度以降は、改定の必要時に審議を行う予定です。

来年度も今年度に引き続き、退院後2週間以内のサマリー作成率の向上に引き続き取り組むとともに、医療安全管理室とも連携し、説明書・同意書の書式変更及び適切な診療記録の監査の検討等、委員会としても積極的に活動をしていく予定です。

(文責 委員長 [糖尿病内科部長] 金澤 寧彦)

23 救急医療運営委員会

当委員会は、突然の傷病で救急搬送される方々や、緊急受診される方々や、あるいは院内で急変される方々に迅速に対応し応急処置を提供するため、救急センター（現：救急総合診療センター）を基軸とした救急医療体制を構築・整備することを目的に設置されました。診療科間の協力体制の構築、当直業務の検討（部会）、救急隊との連携、救急関連医療資材の検討・救急教育や研修会の企画（部会）、災害時医療等委員会との連携、などをおこなっています。委員会開催日は、毎月第2水曜日です。

救急総合診療センターは開設から9年目となりましたが、2019年度より市立川崎病院との連携を強化し、2020年度からは準夜においても、より多くの救急傷病に対応可能な体制に更新しました。

救急総合診療センターの受入拡大に向け、昨年度に引き続き、応需可能な診療内容の見直しや小児用救急カートの整備を実施しました。また、2022年7月に試行を開始した中原区・二次救急当番制は、2023年10月より本格稼働し、2023年度の救急車応需数は3,152件（2022年度2,923件）と増加しました。

今後も「断らない救急」の確立に向けて、救急医療体制の構築・整備に努めてまいります。

(文責 [救急総合診療センター長] 田熊 清継)

24 当直検討部会

当直検討部会は、2019年度に「当直業務の課題解決に向けた検討会」として立ち上げられ、当直時間帯における運営方針や協力体制、院長代行の業務などについて検討を行い、「当直業務に関する合意事項」を定めるなど、当直業務に関する様々な諸課題の解決に向けて関係者による協議を行ってまいりました。2020年度からは救急医療運営

委員会の部会として正式に院内委員会組織に位置付けられたところです。

2023年度は全8回の部会を開催し、医師当直簿のコメント記載欄に記入された内容について毎回の部会で検証を行いました。2023年度から始まった「つなぐ・つながるホッとライン」の運用上の課題や、当直帯の協力体制などを話し合い、その内容については親会である救急医療運営委員会に上げて決定し、決定した内容を電子カルテトップページに掲示し、関係者間で情報共有を図るなど対策を講じました。

今後も引き続き、当直業務の様々な諸課題について、改善に向けて協議を行ってまいります。

(文責 書記 [医事課] 五十嵐 大介)

25 院内救急対応部会

毎月第2火曜日を定例日として開催しています。救急部会は救急医療運営委員会に所属する部会であり、医師および各部署から選出された看護師で構成されています。当院では予期せぬ急変が起きた場合は急変対応報告書と呼ばれる報告書を提出することになっており、救急部会では特に検討が必要と思われる事例について取り上げ、分析を行っております。また、緊急性が高い患者さん、重症度が高い患者さんに対応するために必要な知識や技術について救急部会で共有し、救急部会メンバーである看護師がそれぞれの部署で周知しております。当院の救急医療体制をより良いものにするべく活動を続けていきます。

(文責 救急部会長 [呼吸器内科副医長] 中垣 達)

26 RST(呼吸サポートチーム) 部会

毎週木曜日の10時より、呼吸器専門医1名、クリティカルケア認定看護師1名、ME1名で、人工呼吸器及びネーザルハイフロー装着患者のラウンドを行いました。ケアや治療についてのアドバイス、器機の安全管理についての指導を実施しました。また、呼吸器以外の重症患者について、看護師や医師から質問を受けることが多くなったため、2023年12月より、CCOT(critical care outreach team)として同時間・同メンバーで活動することにしました。看護師が「何かおかしい」と感じた患者は、実際に急変の予兆であることが多く、治療方針やケアの変更により良好な状態と変化したり、ご家族への病状説明のタイミングを逃さないことにつながりました。

メンバー全員が医療機器委員会主催の人工呼吸器研修の講師をつとめました。今後は、ラウンド内容を振り返り、学会発表等に取り組んで参ります。

(文責 看護部)

27 災害時医療等委員会

毎月第2木曜日を定例日として開催し、災害時医療に関する事項について約50人の委員で協議、検討しました。当院は、2022年7月1日付で神奈川県「災害拠点病院」に指定され、災害時に担う役割が大きくなっておりま

す。

2023年度の主な実績としては、①災害医療訓練の実施、②消防訓練の実施、③県内医療機関間での情報伝達訓練等の通信訓練の実施、④D-HIMS(災害用情報共有ツール)の本格稼働・運用マニュアル整備、⑤災害時に備えての物品購入等があります。①については、2019年度以来の実働による訓練を行い、参加者らの様々な気づきから、災害マニュアルを見直し、改訂することができました。当委員会では今後も、多くの訓練や研修会等を通じて、更なる災害時医療の強化に努めてまいります。

(文責 書記 [庶務課] 佐藤 雅美)

28 DMAT 部会

DMAT とは、医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多数傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね48時間以内）から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

当院は、2022年7月1日付で「神奈川 DMAT 指定病院」に指定され、災害時における迅速な医療体制の充実強化が求められています。

当部会は、2023年4月に、災害委員会の下部組織として設置されました。DMAT 隊員を中心とした約20名の委員で構成し、毎月第1木曜日を定例日として、2023年度は12回開催しました。主な活動としては、物品購入の取りまとめ、D-HTMS 本格稼働に向けた検討・訓練の計画、各種訓練に向けた計画立案や結果の検証等を行いました。また、「令和6年能登半島地震」の発生に際しては、神奈川県からの派遣要請に速やかに対応し、医師1名、看護師3名、業務調整員1名で構成する1チームが、2024年1月11日から19日の間、珠洲市総合病院における病院支援のため派遣されました。派遣終了後も、報告会や広報誌等を通じて、積極的に院内外への周知を図りました。

今後も、災害時医療をさらに強化すべく、委員会とも連携しながら活動してまいります。

（文責 書記 [庶務課] 佐藤 雅美）

29 地域連携委員会

地域連携委員会は、「当初、地域の医療機関との連携、支援を推進する。」ことを目的として、2014年度に発足しました。近年は、「地域医療支援病院」の名称承認の認定に重点を置き、プロジェクトチームを発足し、活動しました。その成果もあり、2023年3月29日に「地域医療支援病院」の承認を受けました。

2023年度は、全4回委員会を開催し、① 紹介受け入れ・逆紹介患者数 ② 紹介率・逆紹介率 ③ 診療情報提供料 ④ 入退院支援に関わる診療情報算定実績 ⑤ 地域医療支援病院準備委員会 ⑥ 戦略的クリニック訪問等について、協議、検討しました。活動実績としては、① 医療機関へ冊子「診療のご案内」や地域医療部だよりを発行 ② クリニック訪問127ヶ所、高齢者施設や福祉センター等で出前講座を13回開催しました。今後も引く続き、地域医療支援病院としての連携強化に努めていきます。

（文責 副委員長 [地域医療部担当課長] 柳井田 恭子）

30 地域がん診療連携拠点病院推進委員会

地域がん診療連携拠点病院推進委員会は、「地域がん診療連携拠点病院として体制を整備し、推進する。」ことを目的として、2014年度に発足しました。

2023年度は、全4回委員会を開催し、① 地域がん診療拠点病院の指定要件に規定される診療実績 ② がん診療連携拠点病院指定書 ③ オンラインがんサロン ④ セミナーや研修⑤がん相談センターアンケートの実施等について検討、協議しました。

当院は『かわさき総合ケアセンター』があることから、検診から診療、在宅医療から週末期医療までを行う「シームレスな医療」を提供する病院として更に力を発揮していかなければなりません。次年度も委員の皆さんを中心として、病院が一丸となり、「地域がん診療連携拠点病院」を推進してまいります。

（文責 [地域医療部担当課長] 柳井田 恭子）

31 キャンサーボード

キャンサーボードとは、多職種のプロが集まり患者さんの治療方針を多方面から考え決定する会議です。2014年以前は、基本的には単科のみで治療方針を決定し、疾患自体が多臓器にわたる場合のみ複数科の医師が集まって治療方針を決定しているにすぎませんでした。しかし、2014年度からは、各科のカンファレンスになるべく複数の科の医師が参加するようにならただけではなく、看護師や病理検査、放射線診断部門など多部門で治療を検討できるようにしました。また、最初の治療のみならず治療の過程における二次治療決定をも、一時治療評価後にしっかりと検討していくように組織化されました。病理組織像を検討材料に取り入れている、臨床病理キャンサーボードも呼吸器センターや消化器センターが取り入れ、これまで実施してきております。

今後も、院内の多職種連携をつよめ、診療の質向上に取り組んでいきたいと考えます。

① 病院全体キャンサーボード

多臓器にまたがる症例や原発不明癌、特殊な生物学的進展を示すものを複数科の医師および他職種で話し合う最も大きなキャンサーボード。病理検査部や放射線診断部も参加する。年1～2回開催。

② 部門臓器別キャンサーボード

それぞれのセンターあるいは診療科を中心に行うが、その他に診療科例えば放射線診断部や緩和ケア科を巻き込み、また看護師・薬剤師・栄養士などの多職種も参加し、多方面からの検討を行う。

2-1 消化器キャンサーボード（原則2回/週）

外科の手術前に消化器悪性腫瘍の症例、また消化器内科で診療中の患者につき多職種で検討。また病棟入院後の悪性腫瘍患者についても多職種で集まって治療方針を検討している。

2-2 乳腺キャンサーボード（原則1回/週）

2-3 呼吸器キャンサーボード（原則1回/週）

③ 臨床病理キャンサーボード

3-1 消化器センター臨床病理キャンサーボード

3-2 乳腺臨床病理キャンサーボード

3-3 呼吸器センター臨床病理キャンサーボード

（文責 [腫瘍内科部長] 西 智弘）

32 化学療法管理委員会

2023年度は月例として9回開催し、新規・変更レジメンの審査、承認を行いました。2023年3月末で、10診療科から約324レジメンが登録されています。例年通り「CVポートに関する研修会」、「曝露対策とルート管理に関する研修会」、「抗がん剤の血管外漏出に関する研修会」を開催し、院内スタッフの知識と技能の向上を図りました。血管外漏出に関してはガイドラインが改訂されたことに伴い、院内マニュアルも最新のエビデンスに基づいた内容に変更しました。

委員会で承認されたレジメン及び、抗がん剤投与に関するマニュアルは、電子カルテシステムの初期画面に掲載しているため、どの職種でも閲覧可能です。2022年度より化学療法関連マニュアルをマニュアル関連フォルダー一箇所に踏襲し、血管外漏出等の緊急時によりアクセスしやすいよう改めました。また、レジメンについては井田病院ホームページにも掲載しています。

（文責 書記 [薬剤部] 内田 昌）

33 クリニカルパス委員会

本委員会は医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、栄養士、理学療法士、医事課等の委員で構成され、新規クリニカルパス（以下パス）の立案や評価、運用中パスの問題点等を検討しています。

2023年度は泌尿器科より8件、外科より1件の申請があり、9件が承認となりました。

院内全体のパス適用率は33.7%でした。委員会では目標である院内パス適用率40%以上を目指し、今後も新規パスの立案、質の向上を図って参ります。

（文責 書記 [医事課] 和田 直哉）

34 褥瘡対策委員会

2023年度は、奇数月に多職種で定例会議を開催し、マニュアル班・データ班・福祉用具管理班・広報（勉強会）班に分かれ活動しました。マニュアル班では、褥瘡対策マニュアルの見直しを行い、全職員が閲覧できるよう電子カルテ内の各種マニュアルに掲載しました。データ班では、リンクナースが中心となり、褥瘡のほか、スキンテア・医療機器関連圧迫創傷の発生状況を把握することに取り組みました。福祉用具管理班では、ポジショニングピローや体圧分散寝具の管理体制の見直しやスライドボードやシートの保有数を確認し、不足している部署へ補充しました。広報班では、全職員向けのワークショップ型の勉強会「見てやって学ぶ移動介助」を2月に2回開催しました。スライディングシートを使用した移動介助について、森口理学療法士等が講師を務め、32名の参加がありました。

また、チームラウンドとして、褥瘡回診を毎週木曜日午後実施しました。今年度の褥瘡推定発生率は1.58%、推定有病率は6.62%、院内発生件数は106件でした。

（文責 副委員長 [看護師長] 大溝 茂美）

35 NST(栄養サポートチーム)運営委員会

入院患者個々の症例・病態に応じて適切な栄養管理を実施することを目的とし、2005年度2月よりNST運営委員会を立ち上げました。2011年2月に栄養サポートチーム加算の施設基準を届出、2011年3月から加算の算定を開始しました。2023年度は専任の医師2名、看護師2名、薬剤師5名、管理栄養士1名、+歯科医師の体制で回診を行いました。管理栄養士においては業務の拡充、見直しにより2022年度より専従から専任となり、1日15人以内の介入となりました。また、歯科医師が回診に参加することにより2016年度から新設された歯科医師連携加算（50点）を2018年度より算定開始しています。2020年度の診療報酬改定にて、条件付きではありますが結核病棟における加算も認められ、回診を行っています。

現在、毎週火曜日に回診・カンファレンスを実施し、低栄養患者への介入だけではなく、経腸栄養療法患者の栄養管理、手術予定者、抗がん剤治療予定者の栄養低下の予防のための介入も行っています。介入の結果、経口摂取だけではなく、経腸栄養や静脈栄養に関する介入が増加しています。

院内スタッフに向けては院内勉強会を4回開催し、知識の向上を図りました。参加者は延べ211名でした。

回診患者数（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介入数	57	58	60	58	73	56	72	58	58	59	57	53	719
加算数	42	47	56	44	64	45	67	55	56	55	54	45	630

（文責 委員長 [リウマチ膠原病・痛風センター所長] 栗原 夕子）

(嚥下・口腔サポートチーム部会)

NST 運営委員会の委員会内組織として活動を継続しました。全入院患者への質問紙による嚥下スクリーニング検査・口腔アセスメント(OHAT-J)の実施とプロトコールに応じた改訂水飲みテストの実施を継続して行いました。改訂水飲みテストは実施がまだ不十分であり課題がありますが、嚥下障害患者の早期発見と多職種連携によるケアの実施に努めてきました。また、対象患者に対し多職種でのカンファレンスを行いながら摂食嚥下機能回復体制加算を算定し計401件の算定を行うことができました。今後も多職種で連携し病院全体で嚥下障害患者に対するケアの質の向上を目指し活動を行っていきたいと考えます。

(文責 [リハビリテーション科 課長補佐 言語聴覚士] 谷内田 綾)

36 給食委員会

給食委員会は隔月第3木曜日に開催し、2023年度は6回開催しました。

委員の構成は医師4名、看護師1名、栄養士5名、オブザーバー給食委託業者2名の計12名となっています。

栄養管理の向上と充実、適正な病院食運営を図る目的で協議しました。毎回、検食率、検食簿記載内容と記載内容への対応を報告、給食材料費や患者給食数・栄養指導件数、給食業務委託状況、誤配膳や異物混入などのインシデントを報告しました。

嗜好調査の実施案を検討、10月に実施した食事アンケート結果を報告しました。「満足している」と回答した人の割合が昨年度38.6%であったのに対し、今年度は35.3%と低下し、「満足していない」の項目については、昨年度8.6%であったのに対し、今年度は20%と満足度の低下がみられました。今年度入院日数が昨年度と比較し、「1か月以上6か月未満」が増加、「10日～1か月未満」が減少しており、入院が長期化している人の割合が多くなっており、このことも原因と考えられます。市内産野菜や行事食をはじめ、食事に飽きのこない献立を検討することが必要だと考えられます。

今後も要望等を検討し、献立作成に反映させ、よりよい食事を提供することで患者の満足度を向上させるよう努めていきたいと思えます。

(文責 副委員長 [食養科長] 北岡 聡子)

37 職員研修委員会

当委員会は、教育研修に関する企画、実行、評価による職員の資質の向上を目的とし、医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士、事務職員で構成されています。2023年度も例年同様に各委員会を中心となり、人材育成を推進するため積極的に研修を実施しました。

(文責 書記 [庶務課] 府中 仁)

38 研修管理委員会

当委員会は、初期臨床研修の企画立案、運用管理を目的とし、初期臨床研修医のプログラム修了判定や履修計画、募集広報、選考試験マッチング結果等の報告をしました。

2023年度の初期研修医2年目は、落合志野先生、谷岡友則先生、西本寛先生、山内智喜先生、山田園子先生の5名、1年目は、岩科櫻子先生、小川菜里奈先生、清水京先生、永塚杏先生、前田春乃先生の5名と、慶應義塾大学病院の地域一大学循環コースの奥村優先生、佐々木大志先生の2名でした。

(文責 書記 [庶務課] 府中 仁)

39 看護師特定行為研修部会

看護師特定行為研修部会は、特定行為に必要な手順書の作成や特定行為受講者の支援を行っています。すでに特定研修を修了している5名の認定看護師へ、今後の活動に向けての課題等を聞き取りました。令和8年度より、特定行為研修実習生を受け入れるため、関係する診療部の医師、特定行為研修修了認定看護師、看護部、庶務課が集まり、大学関係者からの説明を受けました。

次年度は、糖尿病看護認定看護師養成課程(B 課程)に1名の受講が決定しています。また、特定行為研修修了者が、院内のチーム活動や所属部署でどのように質の高い看護を提供できるか、多職種との協働を行いながら検討していきます。

(文責 委員長 [副院長] 鈴木 貴博)

40 図書委員会

当委員会は、医療情報の収集及び提供をはかり、職員の日常業務の向上に資する適切な図書室運営を推進するために設置されました。

2023年度は計5回の図書委員会を開催し、例年同様各部署から挙げて頂いた購入希望図書・雑誌・各種データベース等について協議しました。洋雑誌価格高騰に伴い、単独契約の洋雑誌は冊子体2誌を残してすべて購読中止としました。代わりに前年度導入したNACSIS-CAT/ILLによって文献の取り寄せを公費負担とすることで代替としております。

今後も当委員会は皆様の教育・研究支援をしております。どうぞご協力の程よろしくお願い申し上げます。

(文責 委員長 [教育指導部長] 金澤 寧彦)

41 機種・診療材料選定委員会

当委員会は、医療機器の仕様の決定や診療材料の採用に関する審議を行っています。

2023年度の委員会の開催と、審議を経て購入した機器、採用した診療材料は次表のとおりです。

(文責 書記 [庶務課] 山田 さおり)

2023年度 機種・診療材料選定委員会における審議について

回	日時	医療器械の機種選定		診療材料の審議	
		番号	機器名	番号	診療材料名
第1回	5月1日	1	頭皮冷却システム		<なし>
		2	白内障手術装置		
第2回	6月26日	1	マンモビューワ		<なし>
		2	眼科システム		
		3	超音波診断装置		
		4	全自動散薬分包機		
第3回	8月14日	1	医用画像解析ネットワークシステム	1	ディスプレイキット マルチユース
		2	超音波診断装置	2	ディスプレイキット シングルユース
		3	紫外線治療器	3	アンギオシリンジオート用 150ml
				4	ハンドスイッチ専用シース
				5	CV圧トランデューサー
				6	アンギオライン(吸引管)Z01
				7	アンギオ用デュアルチューブスパイラルフローW
第4回	9月29日	1	硬性尿管鏡		<なし>
		2	テープライブラリ増設機器		
		3	自動固定包埋装置		
第5回	11月6日	1	眼科システム		<なし>
		2	血圧脈波検査装置		
		3	全自動血液凝固分析装置		
		4	テープライブラリ増設機器		
		5	テレメトリー式心電送信機		
		6	輸液ポンプ		
第6回	12月4日	1	血圧脈波検査装置		<なし>
		2	全自動血液凝固分析装置		
		3	ベッド		
第7回	3月18日	1	内視鏡用超音波観測装置		<なし>
		2	手術用顕微鏡		

42 市民交流・サービス向上委員会

本委員会はボランティア活動を支援し、患者サービスの向上、療養環境の向上や市民の方々との交流を図る事を目的として「教育・調査班」、「投書検討班」、「院内環境改善班」、「ボランティア班」の4つのグループ体制で、次のとおり活動を行いました。

1 教育・調査班

(1) 待ち時間調査担当

外来診療・会計待ち時間調査を2回実施し、2023年度より新たに採血待ち時間調査も実施しました。

ア 外来診療待ち時間調査

実施日	2023年7月3日から7日	2023年12月1日から8日
平均対象者数	461人	463.6人
平均待ち時間	18分42秒	18分4秒

イ 会計待ち時間調査

実施日	2023年7月3日から7日	2023年12月4日から8日
平均対象者数	384.8人	406.6人
平均待ち時間	15分44秒	15分12秒

ウ 採血待ち時間調査

実施日	2023年12月4日から8日
平均患者数	100.4人
平均待ち時間	7分36秒

(2) 満足度調査担当

外来・入院患者・職員満足度調査を実施し、2月に満足度調査報告会を行い、院内職員に対して報告いたしました。

対象者	外来患者	入院患者	職員
実施期間	2023年10月16日、 10月17日、10月20日	2023年10月16日 から11月15日	2023年10月1日 から10月31日
有効回収率	98.4%	49.8%	72.3%
総合満足度 (満足+やや満足)	90.6%	95.3%	50.2%

2 投書検討班

毎週火曜日に外来、各病棟フロアに設置している投書箱から投書を回収し、水曜日の午後に会議を開催しました。頂いたご意見は担当部署に回答や対応を依頼するとともに、三役会議にも投書内容を伝え、当委員会内で共有し回答を返書又は院内に掲示しました。また、投書用紙について書きづらいつの意見があり検討、見直しを行いました。

3 院内環境改善班

院内・院外の環境の整備と病院利用者の視点で院内の快適性を配慮し、安全で安らぎの療養環境を提供する

ことを目標に活動し、院内の掲示物や清掃の点検を行いました。12月19日には職員による病院周辺の美化活動を実施しました。また、川崎市制100周年記念事業であるフラワープロジェクトにちなみ、病院玄関口にフラワーアーチの設置を行いました。

4 ボランティア班

新型コロナウイルスが5類に移行したことに伴い、一部の活動を除き、ボランティア活動を再開しました。併せて、ボランティアとの意見交換の場であるボランティア会を4回（8月・10月・12月・2月）開催しました。

<年間行事>

- ※通年活動 ・屋外ガーデンでの園芸活動
 ・屋外ガーデンの植物の写真を、外来エリアに展示

7月	七夕笹飾りつけ
10月	院内コンサート（マリンバ演奏）
12月	クリスマスの飾りつけ
1月	お正月の飾りつけ
3月	吊るし雛の飾りつけ

（文責 委員長 [副院長] 篠山 薫）

43 ホームページ・広報委員会

ホームページ・広報委員会は、井田病院に関する情報を市民等に広報することを目的として設置しています。所掌事務は、ホームページの管理・運営等に関する事、病院広報誌「井田山」の発行に関する事、病院の広報に関する事です。市民や医療従事者等に向け、正確かつ分かりやすい情報提供を行えるよう定期的にホームページの保守管理及び更新を行っています。また、井田病院の情報をタイムリーに提供するため、委員で活発な情報収集と検討を行い、情報の発信を適時行っています。

2023年度は委員会を4回開催し、病院広報誌「井田山」は4回発行しました。

号数	発行日時	ページ数	主な記事
第78号	4月28日	4	<ul style="list-style-type: none"> ○新副院長のご挨拶 ○のらぼう菜を提供しました ○新任医師紹介 ○リハビリテーション科が設立されました ○感染制御認定臨床微生物検査技師の紹介 ○細胞検査士(通称スクリーナー)資格の紹介
第79号	7月31日	4	<ul style="list-style-type: none"> ○検診について ○泌尿器科の紹介 ○入院時重症患者対応メディエーターの紹介 ○熱中症対策 ○食中毒に注意しましょう ○宮前メロンを提供しました ○チョイソコかわさきについて ○院内ボランティア募集

第80号	10月31日	4	<ul style="list-style-type: none"> ○紹介受診重点医療機関になりました ○多摩川梨を提供しました ○新しい血管造影装置が入りました ○院内コンサート ～モネ・マリンバデュオコンサート～ ○退院調整看護師について～かえるをかなえるために～ ○橘ふるさと祭りに参加しました ○災害訓練に参加しました
第81号	1月23日	4	<ul style="list-style-type: none"> ○病院長年頭のご挨拶 ○頭皮冷却装置を導入しました ○外来がん治療専門薬剤師の紹介 ○災害訓練を実施しました ○市内産ブロッコリーを提供しました ○災害時の感染対策について ○院内周辺清掃を実施しました

(文責 書記 [庶務課] 中本 琴音)

44 臨床検査管理委員会

2023年度の当委員会は、6月に1回開催しました。医師・看護部と検査科の活発な意見をもとに、業務改善に向けて話し合いました。

おもな検討内容は下記のとおりです。

- ・共用基準範囲への変更について検討し了承されました。
- ・尿細菌検査の追加についての運用について検討し了承されました。

今後も本委員会を通じて、各診療科と看護部および検査科で、密接に意思疎通を図りながら、当院の診療体制をより充実したものにしていきたいと考えています。

(文責 [検査科担当課長] 佐野 剛史)

45 外来診療委員会

外来診療委員会は、外来運用の安定稼働や患者サービス等の外来診療環境の向上を図ることを目的として設置しています。

2023年度は、外来運用での大きな課題がありませんでしたので、委員会の開催は行いませんでした。

当委員会では、今後も引き続き、外来診療に係る様々な諸課題について、改善に向けて検討を行ってまいります。

(文責 書記 [医事課] 五十嵐 大介)

46 手術部委員会

手術部委員会は医師、看護師、放射線技師、臨床工学技士、薬剤師、中央滅菌室、庶務課、医事課、SPDのメンバーで構成され、手術室における物品管理や滅菌管理を含む様々な課題に対応しております。

今年度は手術件数、オープン枠使用状況、使用期限切迫品の報告の他、手術動画管理システム、予定手術患者のコロナ抗原検査、経口補水、DNARの解除について、手術部位マーキングについて検討・決定しました。

(文責 委員長 [麻酔科部長] 中塚 逸央)

47 HCU 委員会

当委員会は医師、看護師、放射線技師、臨床工学技士、管理栄養士、庶務課、医事課、SPD のメンバーで構成され、偶数月に開催しており、稼働状況の報告とともに入退室基準等、HCU についての様々な課題について検討を行い、HCU の円滑な運営に努めています。

2023 年度は入院時重症患者対応メディエーターの介入報告や早期栄養介入管理加算の開始などについて確認を行いました。

2023 年度の具体的な HCU の運営状況につきましては「集中治療室」の項をご覧ください

(文責 委員長 [麻酔科部長] 中塚 逸央)

48 院内がん登録運用委員会

「院内がん登録」とは、国が定める「がん登録等の推進に関する法律」に基づき、外来、入院を問わず、当院を初診で診断、治療の対象となった悪性新生物と一部の悪性以外の新生物に対して、情報を収集し登録する仕組みです。

「地域がん診療連携拠点病院」である当院では必須要件として、毎年、「院内がん登録」業務を行い、作成したデータを院内がん登録データ、全国がん登録データとしてそれぞれ国と県へ提出しています。2023 年の院内がん登録件数は、1,190 件で、予後調査は 501 件実施しました。

「院内がん登録の運用上の課題の評価及び活用に係る規定の策定等を行う機関」として本委員会は設置し、今年度は 1 回開催しました。今年度から研究者等が、がん対策の立案、調査・研究の目的で、院内がん登録データを利用すること（二次利用）が可能となりました。二次利用については、拒否（オプトアウト）が可能であるため、医事課にオプトアウト申出窓口を設置することを説明し、承認としました。

〈院内がん登録に関する実績〉

	2021 年	2022 年	2023 年
院内がん登録件数	1,030	1,166	1,190
予後調査件数	227	501	501

来年度も、引き続き「院内がん登録運用マニュアル」に則ったがん登録の実施、他病院と比較した井田病院のがん診療における立ち位置に加えて、適切な院内がん登録業務運用についても、委員会で議論を行ってまいります。

(文責 委員長 [副院長] 上田 誠司)

49 地域包括ケア病棟運営委員会

地域包括ケア病棟は、急性期医療が終了した後に、リハビリテーションや訪問介護指導等を行い、在宅療養への退院支援を目的として平成 28 年 4 月に開設され、平成 28 年 11 月 1 日から、地域包括ケア病棟入院料 2 を算定する病棟として正式運営となり、今日に至っています。

2023 年度は委員会を 6 回開催しました。昨年度の診療報酬改定で、入院患者に占める一般病棟から転棟した患者の割合が 6 割未満となったことを受け、今年後も、直接入院患者の増加、病床稼働率の上昇、一般病棟に入院した患者の適切な転棟のタイミング及び入院期間の共有について、活発な議論を行いました。また、地域包括ケア病棟

運営ガイドラインに、レスパイト入院の文言の明記等、現行の運用に合致した条文の追加及び修正を実施しました。さらに、3月の委員会では、令和6年度診療報酬改定内容を説明し、来年度、検討が必要な項目について、委員間で共有をしました。

2024年度は、令和6年度診療報酬改定を踏まえ、65%未満の院内転棟率及び72.5%以上の在宅復帰率を前提に、収益向上のためにどのようにして稼働率を上昇させるか、また、どのような患者を受け入れればよいか等の議論を深めていく予定です。

今後とも地域との架け橋となる病棟として、近隣の病院や地域の開業医、訪問介護ステーション等と協力して、在宅療養の実現に向けた地域包括ケア病棟の運用を行っていきたいと考えております。

(文責 委員長 [リハビリテーション科・脳神経外科担当部長] 三島 牧)

《地域包括ケア病棟施設基準に関する実績》

1 リハビリの実施状況

	対象患者 実数	延べ 対象期間	実施単位数	平均単位数	一日の 平均対象者数
5月	23	315	768	2.44	8.3
6月	20	292	744	2.55	8.5
7月	15	194	448	2.31	5.1
8月	16	245	628	2.56	6.6
9月	16	243	630	2.59	6.8
10月	18	291	707	2.43	7.7
11月	19	297	719	2.42	8.0
12月	20	309	733	2.37	8.3
1月	20	304	713	2.35	8.1
2月	18	234	591	2.53	6.6
3月	18	188	488	2.61	6.1

施設基準 2.0以上

2 在宅復帰率

	在宅復帰率	退院者総数
5月	83.4%	46人
6月	81.5%	49人
7月	82.5%	48人
8月	83.3%	67人
9月	81.8%	42人
10月	82.1%	57人
11月	82.9%	45人
12月	84.0%	48人
1月	84.0%	53人
2月	83.8%	44人
3月	82.0%	50人

施設基準 72.5%以上

3 重症度、医療・看護必要度

	7対1病棟群	地域包括基準
5月	28.10%	25.50%
6月	31.60%	14.30%
7月	30.10%	16.70%
8月	28.40%	20.80%
9月	29.00%	22.20%
10月	29.90%	9.50%
11月	32.50%	14.50%
12月	33.60%	23.70%
1月	33.10%	12.00%
2月	30.10%	12.90%
3月	30.20%	19.00%

施設基準 28%以上 8%以上

4 病床稼働率

	入院患者延数	一日平均患者数	稼働率	在院日数
5月	1063	34.3	76.20%	19.9日
6月	972	32.4	72.00%	19.6日
7月	1074	34.6	77.00%	19.7日
8月	1118	36.1	80.10%	17.4日
9月	1021	34.0	75.60%	19.2日
10月	1056	34.1	75.70%	18.7日
11月	948	31.6	70.20%	19.8日
12月	985	31.8	70.60%	18.2日
1月	1208	39.0	86.60%	20.4日
2月	1220	42.1	93.50%	25.8日
3月	1207	38.9	86.50%	22.9日

《地域包括ケア病棟への転入実績》

1. 病棟別転入件数

病棟名	3西	4東	5西	5東	6東	7西	PCU	合計
件数	3	107	9	77	64	69	1	330

2. 診療科別転入件数

診療科名	内科	呼吸器内科	腎臓内科	糖尿病内科	消化器内科	血液内科	循環器内科	リウマチ科	緩和ケア内科
件数	69	34	32	25	31	0	20	38	10
診療科名	外科	乳腺外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	歯科口腔外科	合計	
件数	0	0	66	3	1	0	1	330	

50 緩和ケア委員会

緩和ケア委員会は、「緩和ケアの提供、運用が適切、円滑に行われるよう体制の整備、推進を図る」ことを目的として、2017年に発足しました。2022年度からは、緩和ケア研修会、緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会、かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の準備・運営を緩和ケア委員会が担い、2023年度は緩和ケア委員会を9回実施しました。今後も、緩和ケア全般の課題や問題点等を検討し、さらに、研修会の講師に外部講師を増やし、地域との連携を進めていきたいと思ひます。

1 研修内容

(1) 緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修

この研修会は、より実践的に緩和ケアについて学ぶことができる内容で、2023年度は3回開催し、院内外から延べ142名の参加がありました。

開催日	テーマ	参加数
5月18日(木)	がん患者の疼痛管理	60名
11月21日(火)	園芸療法について	25名
1月18日(木)	頭頸部がん患者・家族への緩和ケア	57名

(2) かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会

この症例検討会は、地域のニーズに踏まえ地域ネットワーク作りを目指した内容で、2023年度は3回開催し、院内外から延べ150名の参加がありました。

開催日	テーマ	参加数
7月18日(火)	壮年期の患者さんの緩和ケア	47名
9月21日(木)	在宅看取り	43名
3月21日(木)	単身患者の長期在宅療養を支える	60名

(3) 緩和ケア研修会

緩和ケア研修会は、川崎市立川崎病院と共催で11月19日(日)実施しました。

この研修会は、「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に準拠しており、研修修了者は厚生労働省より緩和ケア研修会修了証書が交付されます。院内より8人の参加があり、8名全員が修了証書の交付を受けました。

当院の受講率は2024年3月31日現在で、ア.自施設に所属する臨床研修医100%、イ.1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師94%、ウ.1年以上自施設に所属するがん診療に携わらない医師・歯科医師88%、エ.1年以上自施設に所属していない医師80%でした。

(文責 委員長 [緩和ケア部長] 久保田 敬乃)

51 がんサポート・緩和ケア部会

2003年より緩和ケアチームとして活動を始め、2009年6月から専従医師・専従看護師が配置されました。地域がん診療連携拠点病院として、院内および地域のがん患者とその家族に対して、質の高い緩和ケアの提供をめざし「がんサポートチーム」の名称で活動しています。

2018年4月より引き続き、専任医師として久保田敬乃医師が配置されました。2021年7月より引き続き、専任医師として増田香織医師が配置されました。専従看護師は、2019年4月から引き続き、鈴木果里奈(緩和ケア特定認定看護師)が配置されました。その他のチームメンバーは緩和ケア内科医、精神科医、放射線治療科医、薬剤師、栄養士、

公認心理師、理学療法士が所属し、多職種が連携してチーム医療を提供しています。

がんサポートチームは、一般病棟に入院中の緩和ケアを必要とする患者を毎日回診し、週2回の合同カンファレンスと週1回のチーム合同回診を行っています。2023年度がんサポートチームの依頼件数は335件でした。2012年から活動を開始した非がんサポートチームの依頼件数は63件でした。非がん疾患患者に対する緩和ケアは、行政の方針においても拡充が求められており、当院でも年々増加傾向にあります。介入の内容は、疼痛緩和、その他の症状緩和、精神的ケア、家族ケア、当院緩和ケア病棟や在宅部門の訪問診療及び訪問看護の介人も含む療養場所の選択、意思決定支援など多岐にわたります。

国の指針である早期からの緩和ケアの推進を具体化させる手段として、2014年5月から緩和ケアに関するスクリーニングを開始しています。2023年度のスクリーニング件数は321件でした。がんと診断された時から患者が切れ目のないケアを受けられるように、がん看護緩和ケア班のリンクナースと協働し、スクリーニングの推進とがん看護・緩和ケアの質の向上のためさまざまな活動を行っています。さらに神奈川県がん診療連携協議会・緩和ケア部会では、県内の病院と緩和ケア提供体制について情報共有を行い、がん患者の療養生活の質の向上に努めています。

(文責 [がんサポートチーム専従看護師] 鈴木 果里奈)

52 病床管理運営委員会

今年度は、病床管理運営要領について現状に合わせた内容に改正しました。

また、病床稼働率や長期入院患者の状況について確認しました。

今後も、病床管理運営要領に沿った適切な病床運用・管理を推進いたします。

(文責 書記 [医事課] 大谷 伸明)

53 ハラスメント防止対策委員会

ハラスメント防止対策委員会は、セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、妊娠・出産・育児又は介護に関するハラスメントの防止及び対策を講じることを目的に設置しています。

2023年度は、ハラスメント防止対策委員会の開催に至った案件はありませんでした。引き続き、相談に対するヒアリング、ハラスメントに該当するかの判定、課題整理、必要な介入を行っていきます。また、ハラスメント防止研修を実施し、延べ131人が参加しました。

今後も相談者のプライバシーに十分配慮し委員会としての役割を担っていきたいと考えております。

(文責 委員長 [病院長] 伊藤 大輔)

54 糖尿病サポートチーム委員会

半田前糖尿病内科部長の時代に立ち上げられた糖尿病サポートチームは井田病院の糖尿病診療を支えてまいりましたが、2021年度より院内委員会の1部門として承認され、以前と同様に糖尿病療養指導の質の向上を図るべく活動しております。活動内容といたしましては、糖尿病診療機器、様々な教育用機器を利用した注射指導などの知識や経験の共有を昨年度に引き続き行いました。また院外・院内における糖尿病チームの在り方や対外的な周知活動、院内広報活動をいかにすべきか、糖尿病や合併症、関連疾患について院内パラメディカルの教育目的の勉強会の在り方につきチーム内でサブグループを作り協議いたしました。2024年度はコロナウイルス感染症で開催できなかった、年1回の世界糖尿病デーのイベントの施行や、2023年に4年ぶりの開催となった患者会のミニ講座開催の継続開催も含め井田病院の糖尿病診療に厚みを持たせること、さらに人手不足になりがちな療養スタッフの充実を図ることを目標に時代の診療の流れに乗り遅れることなく活動して参りたいと思います。

(文責 委員長 [糖尿病内科部長] 金澤 寧彦)

55 認知症ケア運営委員会

認知症ケア運営委員会は、2021年4月に院内委員会に設置されました。

認知症ケアサポート医、認知症看護認定看護師、作業療法士、ソーシャルワーカー、病棟リンクナースとともに連携し、院内の認知症ケアの向上のため、週1回のチーム回診を行っております。委員会は毎月第2週金曜日に開催し、2023年度は12回開催しました。認知症患者の周辺症状やせん妄の対応について協議し、事例の検討やスキルアップのための勉強会を行いました。今後も病棟リンクナースとともに連携し、質の高い認知症ケア、看護を提供できるように努めていきたいと思っております。

(文責 委員長[リハビリテーション科・脳神経外科担当部長] 三島 牧)

VIII 取得図書

1 利用統計(図書室所蔵資料等の統計)

1 単行書

単行書	冊数
洋書	209
和書	4348
計	4557

(2024年3月31日現在)

2 製本雑誌

製本雑誌	冊数
洋雑誌	848
和雑誌	1890
計	2738

(2024年3月31日現在)※製本は2020年度より廃止

3 相互貸借

申入件数	受付件数
130	347

(2023年4月1日～2024年3月31日)

4 メディカルオンライン利用統計

PDFダウンロード件数	6345
FAX取り寄せ件数	11

(2023年4月1日～2024年3月31日)

2 単行書受入

洋書 7冊
和書 236冊
視聴覚資料 1点
電子書籍 31冊

3 EBMツール

1 UpToDate Anywhere
2 DynaMed
3 今日の診療

4 文献検索ツール

1 医学中央雑誌Web
2 最新看護索引Web

5 電子書籍ツール

1 メディカルオンライン
イーブックスライブラリー

6 現行受入雑誌(洋雑誌)

1 JAMA
2 New England Journal of Medicine

・電子ジャーナルパッケージ

(洋)

1 ProQuest Medical Database
2 Medline with Full Text
3 ClinicalKey

(和)

1 メディカルオンライン
2 医書.jp

7 現行受入雑誌(和雑誌)

1 Expert Nurse
2 INFECTION CONTROL(感染対策室別置)
3 INNER VISION(放射線科別置)
4 Orthopaedics
5 Visual Dermatology
6 画像診断(放射線科別置)
7 クインテッセンス
8 クインテッセンス デンタルインプラントロジー
9 月刊ナースマネジャー
10 重症集中ケア
11 腫瘍内科
12 ソーシャルワーク実践研究(地域医療部別置)
13 日経ドラッグインフォメーション(薬剤部別置)
14 メディカル・テクノロジー(検査科別置)
15 レジデントノート
16 看護
17 看護人材教育
18 看護展望
19 緩和ケア
20 救急医学

21 月刊ナーシング
22 月刊新医療
23 消化器外科
24 消化器内視鏡(内視鏡C別置)
25 心エコー(検査科別置)
26 全国自治体病院協議会雑誌 *
27 地域連携入退院と在宅支援
28 日本医師会雑誌 *
29 日本外科学会雑誌 *
30 日本透析医学会雑誌 *
31 日本内視鏡外科学会雑誌 *
32 日本病院会雑誌 *
33 日本臨床外科学会雑誌 *
34 病院安全教育
35 保健師・看護師の結核展望
36 臨床リウマチ *
37 臨床栄養(食養科別置)

*は寄贈雑誌

川崎市立井田病院年報

第 53 号 (2023 年度版)

令和 6 年 (2024 年) 12 月発行

編集・発行 川崎市立井田病院

〒211-0035 川崎市中原区井田 2 丁目 27 番 1 号

電 話 044 (766) 2188 (代)

F A X 044 (788) 0231